

第2章 保健事業

- 第1節 健康創造都市KOBEの推進
- 第2節 母子保健事業・こども家庭支援室
- 第3節 成・老人保健事業
- 第4節 精神保健事業
- 第5節 難病対策事業
- 第6節 感染症・結核対策事業
- 第7節 栄養改善事業
- 第8節 環境保健事業
- 第9節 歯科保健事業

第1節 健康創造都市 KOBE の推進

神戸に思いを持つ企業や団体等と市民が中心となり、WHO神戸センターや神戸医療産業都市との連携の成果を踏まえながら、誰もが健康になれるまち「健康創造都市 KOBE」をめざし、「健康創造都市 KOBE 推進会議」を2017年7月に設立。健康寿命の延伸、健康格差の縮小、個人の健康づくり活動と企業の健康経営を通じた市内経済の活性化に向けた取組みを進めている。

(1) 重要課題（マテリアリティ）

- ・健康経営の推進
- ・健康に関心の薄い人を含め誰もが無理なく健康になれる環境づくりの推進

(2) 2023年度の主な取り組み

- ・健康創造都市 KOBE 推進会議総会の開催

健康創造都市 KOBE 推進会議の活性化のため、総会を2回開催し、これまで掲げていた5つの検討項目を2つの重要課題に再編・統合し、課題に基づいたプロジェクトを4つ立ち上げた。

- ・プロジェクト検討ワークショップの開催

これまで、健康経営部会・コンテンツ部会と2つの部会に分けて開催していたが、これら2部会の枠を超えたプロジェクト検討ワークショップを計2回開催し、4プロジェクトの立上げについて検討を行った。

- ・ヘルスケアデータ連携システムの運用

科学的根拠に基づく保健事業の推進による市民サービスの向上を目指し、医療・介護のレセプトデータや健診データ等を連結・匿名化した「ヘルスケアデータ連携システム」を整備し運用している。

今まで個別の業務システムで保有していたデータを連結し、悉皆性の高いデータを分析可能とした。市民全体の健康状態や課題の把握、保健事業の効果検証が行うことができ、科学的根拠に基づく保健事業を推進することが可能となり、市民サービスの向上につながる。また、あらかじめ匿名化したデータを保管しているため、学術機関から研究目的でのデータ提供依頼があった場合に、必要なデータセットを学術機関に提供することで、今後の健康増進施策に活かせる先進的な知見を得ることができる。(2024年3月31日時点の実施中の研究：9件)

・人生会議アドバンス・ケア・プランニング（ACP：Advance Care Planning）の普及促進

人生の最後まで自分らしく生きるため、自らが望む医療やケアについてご家族等と前もって繰り返し話し合う「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」を普及促進している。

市民向けのパンフレットを作成・配布するとともに、市民向け講演会も開催し、人生会議（ACP）が必要な理由や具体的に進める方法について講演を行った（2024年2月23日開催、160名参加）。

また、医療・介護従事者向けには、国のガイドラインの活用および人生会議（ACP）の実践に焦点をあてた研修会を2回開催した（2023年11月19日、2024年2月18日開催、2日間で115名参加）。

第2節 母子保健事業・こども家庭支援室

妊娠、出産、育児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期を通じて、母子保健法に基づき一貫した体系の下に総合的に進めている。市民それぞれの時期に必要なサービスが提供できるよう体系化し、母子健康手帳の交付や健康診査などの基本的なサービスのほか、特定の市民を対象とした多胎児や発達に遅れがある児の子育て教室などの付加的なサービスにより市民のニーズに応えるべく網羅的に事業を展開している。

(1) 保健指導・相談

①妊娠の届出・母子健康手帳の交付

妊娠の届出時に、母子健康手帳及びすくすくハンドブック（妊娠期から育児期までの情報を掲載）を交付している。交付時に保健師が妊婦に面接を実施し、ハイリスク妊婦の把握と早期支援につなげている。

・妊娠届出数と交付時の妊娠週数の内訳

区 別	妊娠届出数	妊娠届出時の妊娠週数			
		11週以内	12-19週	20-27週	28週以上
2021年度	10,015	9,664	266	57	28
割合		96.50%	2.70%	0.60%	0.30%
2022年度	9,531	9,196	260	47	28
割合		96.50%	2.70%	0.50%	0.30%
2023年度	8,969	8,674	229	41	25
割合		96.70%	2.60%	0.50%	0.30%
東 灘	1,337	1,295	31	6	5
灘	934	913	14	5	2
中 央	1056	1019	32	4	1
兵 庫	768	734	29	3	2
北	1081	1048	20	10	3
本 区	603	582	12	7	2
北 神	478	466	8	3	1
長 田	541	508	26	3	4
須 磨	928	908	13	5	2
本 区	494	484	4	4	2
支 所	434	424	9	1	0
垂 水	1166	1126	33	4	3
西	1158	1123	31	1	3

②保健師などによる訪問指導・相談

ハイリスク妊産婦、低出生体重児などの健康・育児上の課題を有する者や新生児への訪問指導のほか、随時、面接や電話による相談に応じている。また、発達障害の疑いのある子どもに対する専門相談を実施している。加えて、訪問による育児・家事の援助を行う「産前産後ホームヘルプサービス」（妊娠中や出産後間もない母親支援）、「養育支援ヘルパー派遣事業」（児童虐待のおそれのある家庭を対象）を実施している。その他、2016年2月より思いがけない妊娠等により戸惑っている妊婦の悩みに対し、助産師がメールや電話により相談に応じる「思いがけない妊娠SOS相談事業」を実施し、2020年9月より不安や悩みを抱える若年妊婦等相談事業も開始した。2021年4月から2事業を統合し「妊娠SOS相談事業」として、24時間365日の相談体制に拡充した。2022年4月より「予期せぬ妊娠SOS相談事業」へ名称変更した。

・予期せぬ妊娠SOS相談事業（延べ件数）

	電話相談	メール相談	LINE相談	面接相談
2021年度	1927	385	8312	44
2022年度	2558	522	10585	38
2023年度	2807	337	12591	41

※LINEは一つのやりとりが終わるごとに、一件として計上

・不安や悩みを抱える若年妊婦等相談事業実績（委託事業者の独自事業含む）（延べ件数）

	電話相談	メール・ LINE相談	面接相談
2021年度	533	4673	57

※2020年9月～開始

・妊産婦訪問指導人数

区 別		2021年度	2022年度	2023年度	東 灘	灘	中央	兵庫	北	北 神		長 田	須 磨	本 区 支 所		垂 水	西
										本区	北神			本区	支所		
妊 産 婦	実人数	9,172	9,987	10,986	1,730	1,055	1,146	757	1,359	730	629	753	1,238	651	587	1,459	1,489
	延人数	9,380	10,446	12,447	1,824	1,181	1,298	877	1,599	817	782	810	1,509	816	693	1,622	1,727

・ 新生児訪問指導件数

区 別	2021 年度	2022 年度	2023年度													
			東 灘	灘	中 央	兵 庫	北			長 田	須 磨			垂 水	西	
								本区	北神			本 区	支 所			
新生児訪問指導対象児数	9,652	9,086	8,557	1,374	823	938	716	1,062	590	472	509	890	467	423	1,160	1,085
新生児訪問指導件数	9,104	8,981	8,449	1,390	818	877	644	1,051	600	451	484	932	466	466	1,156	1,097
訪問率	94.3%	98.8%	98.7%	101.2%	99.4%	93.5%	89.9%	99.0%	101.7%	95.6%	95.1%	104.7%	99.8%	110.2%	99.7%	101.1%
（再掲）新生児訪問指導員 による訪問	7,999	7,256	6,250	1,086	629	628	498	753	463	290	326	631	288	343	872	827
（再掲）低体重児等職員に よる訪問	1,105	1,725	2,199	304	189	249	146	298	137	161	158	301	178	123	284	270

・ 産前ホームヘルプサービス実績

	利用者実人数	実施回数
2021年度	91	332
2022年度	102	391
2023年度	144	479

・ 産後ホームヘルプサービス実績

	利用者実人数	実施回数
2021年度	368	1,684
2022年度	343	1,445
2023年度	421	1,676

・ 養育支援ヘルパー派遣実績

	派遣実人数	実施回数
2021年度	27	278
2022年度	30	271
2023年度	28	212

・ 多胎児家庭ホームヘルプサービス実績

	利用者実人数	実施回数
2021年度	36	290
2022年度	52	540
2023年度	62	498

・ 発達障害等専門相談

	2021年度	2022年度	2023年度											
			東灘	灘	中央	兵庫	北	北神	長田	須磨	北須磨	垂水	西	
実施回数	120	118	139	16	12	18	12	12	8	12	12	12	13	12
相談者数	206	243	254	25	27	45	14	14	13	23	23	15	20	35

※相談者数は子の数を計上

③産後ケア事業

2014 年度より産後ケア事業を開始し、産後ケアを必要とする方を対象に助産所等での宿泊・通所や助産師による訪問により、産後の母体のケアや、育児の相談支援を行い、育児不安の解消を図ることで母子の愛着形成の促進や児童虐待の予防に努めている。2023 年度より、対象者を「母に強い育児不安がある者」から「産後ケアを必要とする者」に拡大した。

・産後ケア事業実績

	宿泊サービス		通所サービス		訪問サービス	
	利用者実人数	利用日数	利用者実人数	利用日数	利用者実人数	利用日数
2021年度	399	1,669	721	2,214	146	259
2022年度	557	2,256	1,055	3,556	511	909
2023年度	901	3,201	1,802	5,266	615	1,032

④こども家庭センター（母子保健機能）※旧子育て世代包括支援センター

全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行うことを目的に、2016年度より、各区役所・支所・西神出張所（現：玉津支所）に新たに看護職を1名配置している。

2022年度より妊娠出産子育て寄り添い支援事業も開始している。

また児童福祉法改正に伴い、2024年度より子育て世代包括支援センターの機能をこども家庭センター（母子保健部分）に変更する。

・相談件数

	2021年度	2022年度	2023年度
面接相談	13,855	11,702	14,846
電話相談	2,987	3,210	2,642

(2) 健康診査・検査

① 妊婦健康診査・妊婦歯科健康診査

全妊婦に公費助成（14回分）を実施している。2017年度より、妊婦一人あたりの助成上限額を98,000円から120,000円へ増額した。厚生労働省が告示した妊婦健康診査の検査項目を確実に受けられるよう2017年度10月からは金額のみを明記した補助券から検査項目も明記した受診券へ変更した。

2021年度より、多胎妊婦に対し、14回を超えて（15回目以降）受診する妊婦健康診査の受診費用について5回分（1回5,000円）の追加助成を実施している。

また、妊婦歯科健康診査（妊娠中1回分の無料受診券を交付）を市内の実施医療機関にて実施している。

・妊婦健康診査受診者数

（2024年11月7日時点）

2021年度	2022年度	2023年度
15,341	14,610	13,907

・妊婦歯科健康診査受診結果（個別健診・医療機関委託）

		2021年度	2022年度	2023年度	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
受診者数(人)		3,931	3,878	3,633	583	441	376	259	461	173	367	529	444
母子健康手帳発行数(人)		10,015	9,531	8,969	1,337	934	1,056	768	1,081	541	928	1,166	1,158
	受診率	39.3%	40.7%	40.5%	43.6%	47.2%	35.6%	33.7%	42.6%	32.0%	39.5%	45.4%	38.3%
未処置歯のある者(人)		1,582	1,402	1,258 (34.6%)	237	164	152	94	141	66	130	142	132
処置歯のある者(人)		3,483	3,396	3,184 (87.6%)	513	398	322	229	405	150	316	471	380
要補綴歯のある者(人)		54	59	47 (1.3%)	9	2	4	2	8	4	6	6	6
欠損補綴歯のある者(人)		151	140	137 (3.8%)	15	17	13	18	15	7	21	16	15
判定区分(人)	①異常なし	259	249	255 (7.0%)	38	37	25	19	18	10	30	42	36
	要指導	3,349	3,285	3,005 (82.7%)	490	369	309	207	391	142	313	428	356
	②BOP最大値1かつPD最大値0	1,033	1,059	925 (25.5%)	183	135	75	51	108	31	108	120	114
	③口腔清掃状態(不良)	336	320	271 (7.5%)	51	36	39	21	27	13	18	39	27
	④歯石の付着(軽度・中等度)	3,119	3,000	2,730 (75.1%)	445	342	287	185	363	127	283	388	310
	⑤その他問診項目からの指導	115	133	135 (3.7%)	19	14	14	13	11	4	12	13	35
	要精密検査	2,670	2,526	2,378 (65.5%)	379	266	257	187	311	125	229	336	288
	⑥PDの最大値が1か2	2,014	1,934	1,838 (50.6%)	264	186	206	153	248	107	170	275	229
	⑦未処置歯あり	1,573	1,388	1,236 (34.0%)	233	158	149	92	138	64	130	141	131
	⑧要補綴歯あり	48	48	39 (1.1%)	7	2	3	2	6	3	6	4	6
	⑨その他治療や検査を要する	46	55	45 (1.2%)	7	4	1	6	5	2	1	5	14

※：重複あり（内訳の割合(%)は受診者数を母数として算出）

② 産婦健康診査

2018年10月より、産後2週間、産後1か月などの出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の費用助成（1回上限5,000円）を開始した。産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期からの切れ目のない支援を充実し、産後うつ予防及び母子の愛着形成の促進、虐待の未然防止を図る。

・産婦健康診査受診者数

	産後2週間	産後1か月
2021年度	7,205	9,015
2022年度	7,251	8,515
2023年度	7,398	8,140

③先天性代謝異常等検査

出産後4～6日目に、出生した医療機関において、先天性代謝異常等の検査を実施している。

・先天性代謝異常等検査（2012年7月～タンデムマス法を導入）

年 度	2021 年 度	2022 年 度	2023 年 度
検 査 実 施 数（※1）	11,858	11,158	11,013
検 査 実 施 実 人 員 数	10,798	10,141	9,792
再採血検査実施数（※2）	1,060	1,017	1,221

※1）検査実施数には、神戸市内で出生した、他都市在住者も含む。

※2）2,000g以下の低体重児については原則2回採血する。（1回目：生後4～6日。2回目：生後1か月、体重2,500gに達した時期、医療機関を退院する時期のうちいずれか早い時期）

④新生児聴覚検査

2019年10月より、親が神戸市に住所を有している新生児（2019年10月1日以降生まれの児）に、新生児聴覚検査に係る費用の助成（1人につき1回、5,000円を上限）を開始した。新生児の聴覚障害を早期に発見し、早期療育・支援につなげ、こどもの健全な成長・発育を促す。

・新生児聴覚検査費用助成を受けた受検者数

（2024年11月7日時点）

2021年度	8,648
2022年度	8,193
2023年度	7,631

⑤乳幼児健康診査

乳幼児を対象に実施しており、要経過観察となった児にはフォロー健診、要精密検査となった児には精密検査を実施している。あわせて、保健師による相談を実施するなど育児に悩む母親への支援を行っている。また、乳幼児健康診査未受診児に対し、家庭訪問や関係機関との連携による受診勧奨、養育状況の把握に努めている。

ア 4か月児健康診査

区 別	回数	対象児数	受診児数	受診率	相 談 件 数		
					育 児	栄 養	歯 科
2021 年 度	204	9,603	9,437	98.3%	9,287	2,066	644
					98.4%	21.9%	6.8%
2022 年 度	199	9,133	8,976	98.3%	8,752	1,851	605
					95.8%	20.3%	6.6%
2023 年 度	198	8,781	8,604	98.0%	8,444	1,121	683
					89.5%	11.9%	7.2%
東 灘	26	1,430	1,392	97.3%	1,372	225	52
灘	22	831	832	100.1%	816	86	149
中 央	17	983	940	95.6%	925	126	27
兵 庫	18	707	684	96.7%	644	82	68
北		33	1,054	99.0%	1,032	79	206
	本区	18	581	98.3%	564	47	136
	北神	15	473	99.8%	468	32	70
長 田	13	529	508	96.0%	478	60	33
須 磨		25	901	99.7%	890	149	42
	本区	13	434	99.3%	425	81	22
	支所	12	467	100.0%	465	68	20
垂 水	24	1,185	1,157	97.6%	1,151	165	40
西	20	1,161	1,150	99.1%	1,136	149	66

4か月児健診内科診察結果

区 別	受診 児 数	異常なし	要 注 意		要 医 療			不明※1
			要指導	要観察	要精密	要医療	医療中	
2021 年 度	9,437	7,018	58	1,348	508	73	432	—
		74.4%	0.6%	14.3%	5.4%	0.8%	4.6%	0.0%
2022 年 度	8,976	6,634	28	1,341	495	51	420	7
		73.9%	0.3%	14.9%	5.5%	0.6%	4.7%	0.1%
2023 年 度	8,604	6,332	52	1,276	493	65	384	2
		73.6%	0.6%	14.8%	5.7%	0.8%	4.5%	0.0%
東 灘	1,392	997	8	204	72	10	101	—
灘	832	618	8	131	28	7	39	1
中 央	940	638	9	186	72	—	35	—
兵 庫	684	495	3	86	42	15	42	1
北		1,043	777	1	157	64	10	34
	本区	571	441	—	69	30	7	24
	北神	472	336	1	88	34	3	10
長 田	508	394	2	55	18	2	37	—
須 磨		898	634	6	162	60	13	23
	本区	431	332	5	44	33	4	13
	支所	467	302	1	118	27	9	10
垂 水	1,157	843	11	185	86	4	28	—
西	1,150	936	4	110	51	4	45	—

※1 診断の結果判定が未記入のもの。

※2 要フォロー診は要観察に含む。

イ 9か月児健康診査（個別健康診査、医療機関委託）

9か月健診内科診察結果（個別健診：医療機関委託）

区 別	対象児数	受診児数	受診率	異常なし	要 注 意		要 医 療			不明※1
					要 指 導	要 観 察	要 精 検	要 医 療	医 療 中	
2021 年 度	9,551	9,066	94.9%	7,492	59	1,195	115	20	185	—
				82.6%	0.7%	13.2%	1.3%	0.2%	2.0%	0.0%
2022 年 度	9,565	9,138	95.5%	7,546	48	1,218	113	22	191	—
				82.6%	0.5%	13.3%	1.2%	0.2%	2.1%	0.0%
2023 年 度	8,846	8,338	94.3%	6,714	70	1,201	140	28	185	—
				80.5%	0.8%	14.4%	1.7%	0.3%	2.2%	0.0%
東 灘	1,456	1,345	92.4%	1,104	8	183	18	10	22	—
灘	816	772	94.6%	584	2	154	11	3	18	—
中 央	952	903	94.9%	725	6	145	10	1	16	—
兵 庫	638	572	89.7%	460	4	90	4	4	10	—
北	1,135	1,091	96.1%	834	14	156	53	3	31	—
	本区	632	95.3%	511	—	72	6	2	11	—
	北神	503	97.2%	323	14	84	47	1	20	—
長 田	504	466	92.5%	378	2	73	1	1	11	—
須 磨	939	882	93.9%	736	10	106	5	2	23	—
	本区	432	94.2%	343	2	53	3	1	5	—
	支所	507	93.7%	393	8	53	2	1	18	—
垂 水	1,182	1,150	97.3%	937	11	162	14	2	24	—
西	1,224	1,157	94.5%	956	13	132	24	2	30	—

※1 診断の結果判定が未記入のもの。

※2 要フォロー診は要観察に含む。

ウ 1歳6か月児健康診査（歯科健康診査も実施）

1歳6か月児健診受診児数および相談件数

区 別	回数	対象児数	受診児数	受診率	相 談 件 数			
					育 児	栄 養	歯 科	精神発達※
2021 年 度	168	10,943	10,663	97.4%	10,435	1,570	8,063	972
					97.9%	14.7%	75.6%	9.1%
2022 年 度	172	10,190	9,824	96.4%	9,542	1,320	8,871	983
					97.1%	13.4%	90.3%	10.0%
2023 年 度	168	9,349	9,187	98.3%	8,995	1,520	8,370	892
					97.9%	16.5%	91.1%	9.7%
東 灘	24	1,679	1,643	97.9%	1,609	253	1,536	142
灘	16	926	913	98.6%	901	199	827	80
中 央	17	950	933	98.2%	918	192	849	114
兵 庫	12	593	565	95.3%	525	72	527	60
北		23	1,230	98.4%	1,194	174	1,050	102
	本区	12	673	97.3%	647	106	570	58
	北神	11	557	99.6%	547	68	480	44
長 田	10	522	503	96.4%	489	78	456	46
須 磨		24	986	98.1%	955	151	867	110
	本区	12	471	98.5%	453	75	417	45
	支所	12	515	97.7%	502	76	450	65
垂 水	22	1,270	1,278	100.6%	1,260	188	1,161	108
西	20	1,193	1,175	98.5%	1,144	213	1,097	130

※1歳6か月児健診の対象者以外で精神発達相談を受けたものについてはフォロー健診（別掲）で計上している。

1歳6か月児健診内科診察結果

区 別	受診児数	異常なし	要 注 意		要 医 療			不明※1	
			要指導	要観察	要精検	要医療	医療中		
2021年度	10,663	7,973	595	1,337	359	41	357	1	
		74.8%	5.6%	12.5%	3.4%	0.4%	3.3%	0.0%	
2022年度	9,824	7,370	561	1,240	252	25	372	4	
		75.0%	5.7%	12.6%	2.6%	0.3%	3.8%	0.0%	
2023年度	9,187	6,953	557	1,096	232	22	324	3	
		75.7%	6.1%	11.9%	2.5%	0.2%	3.5%	0.0%	
東 灘	1,643	1,274	80	200	41	3	45	—	
灘	913	741	39	76	14	2	41	—	
中 央	933	714	45	130	20	3	20	1	
兵 庫	565	417	48	63	21	—	16	—	
北	1,210	862	73	153	49	7	65	1	
	本区	655	471	41	82	22	4	35	—
	北神	555	391	32	71	27	3	30	1
長 田	503	346	22	102	10	—	22	1	
須 磨	967	721	63	93	34	3	53	—	
	本区	464	347	19	52	20	2	24	—
	支所	503	374	44	41	14	1	29	—
垂 水	1,278	1,010	72	140	20	1	35	—	
西	1,175	868	115	139	23	3	27	—	

※1 診断の結果判定が未記入のもの。

※2 要フォロー診は要観察に含む。

1歳6か月児健康診査 歯科診察結果

区 別	受診児 数	むし歯 の総数 (本)	むし歯 のある 児(人)	むし歯 有病者 率	う蝕活 動性試 験結果 ++以上 の割合	軟組織 の異常 (人)	咬合の 異常 (人)	その他 の異常 (人)	判定指示事項(人)			フッ化 物塗布 (人)	フッ化 物塗布 率
									異常 なし	要 指 導	要 精 密		
2021 年 度	10,659	253	87	0.8%	28.6%	1,453	1,922	1,145	3,648	7,010	1	—	—
2022 年 度	9,821	198	76	0.8%	29.2%	1,476	1,672	1,144	3,334	6,485	2	—	—
2023 年 度	9,185	176	72	0.8%	25.2%	1,457	1,579	1,050	3,164	6,021	0	6,362	69.3%
東 灘	1,642	21	10	0.6%	19.5%	324	352	232	495	1,147	0	1,156	70.4%
灘	913	13	5	0.5%	18.7%	136	127	81	359	554	0	618	67.7%
中 央	933	29	10	1.1%	20.2%	181	162	125	266	667	0	664	71.2%
兵 庫	565	17	6	1.1%	37.3%	81	93	56	196	369	0	391	69.2%
北	655	6	3	0.5%	21.8%	95	126	77	239	416	0	457	69.8%
北神	555	10	3	0.5%	24.7%	68	80	63	221	334	0	344	62.0%
長 田	502	7	4	0.8%	34.3%	41	44	42	192	310	0	337	67.1%
須磨	464	16	7	1.5%	20.9%	61	65	54	179	285	0	325	70.0%
北須磨支所	503	16	7	1.4%	34.8%	72	45	48	204	299	0	345	68.6%
垂 水	1,278	23	8	0.6%	30.8%	149	249	151	459	819	0	863	67.5%
西	1,175	18	9	0.8%	26.0%	249	236	121	354	821	0	862	73.4%

エ 3歳児健康診査（歯科健康診査、視聴覚検査も実施）

3歳児健診受診児数及び相談件数

区 別	回数	対象児数	受診児数	受診率	相 談 件 数			
					育 児	栄 養	歯 科	精神発達※
2021 年 度	170	11,881	11,468	96.5%	11,178	640	8,124	909
					106.6%	6.1%	77.5%	8.7%
2022 年 度	182	11,632	11,418	98.2%	11,058	606	8,113	943
					105.5%	5.8%	77.4%	8.3%
2023 年 度	171	10,688	10,486	98.1%	10,182	665	8,648	943
					97.1%	6.3%	82.5%	9.0%
東 灘	24	1,938	1,895	97.8%	1,843	109	1,659	139
灘	13	1,038	1,009	97.2%	978	56	807	82
中 央	17	915	886	96.8%	859	72	735	96
兵 庫	12	607	596	98.2%	556	50	515	68
北		23	1,432	99.9%	1,406	65	1,100	97
	本区	12	760	100.1%	738	39	570	49
	北神	11	672	99.7%	668	26	530	48
長 田	10	500	478	95.6%	461	31	397	74
須 磨		24	1,150	97.7%	1,101	71	916	119
	本区	12	552	99.6%	536	36	469	46
	支所	12	598	96.0%	565	35	447	73
垂 水	24	1,472	1,448	98.4%	1,428	85	1,187	112
西	24	1,636	1,619	99.0%	1,550	126	1,332	156

※3歳児健診の対象者以外で精神発達相談を受けたものについてはフォロー健診（別掲）で計上している。

3歳児健診内科診察結果

区 別	受診児数	異 常 な し	要 注 意		要 医 療			不明※1	
			要 指 導	要 観 察	要 精 検	要 医 療	医 療 中		
2021 年 度	11,468	9,277	639	824	304	32	372	20	
		80.9%	5.6%	7.2%	2.7%	0.3%	3.2%	0.2%	
2022 年 度	11,418	9,107	724	824	19	29	428	10	
		79.8%	6.3%	7.2%	0.2%	0.3%	3.7%	0.1%	
2023 年 度	10,486	8,362	711	711	270	31	400	1	
		79.7%	6.8%	6.8%	2.6%	0.3%	3.8%	0.0%	
東 灘	1,895	1,476	124	145	73	5	72	—	
灘	1,009	820	39	77	17	11	45	—	
中 央	886	720	44	75	21	2	24	—	
兵 庫	596	480	38	48	19	2	9	—	
北		1,431	1,179	76	94	44	5	33	—
	本区	761	646	49	27	18	2	19	—
	北神	670	533	27	67	26	3	14	—
長 田	478	331	64	51	8	—	24	—	
須 磨		1,124	896	91	65	14	1	57	—
	本区	550	450	38	36	7	—	19	—
	支所	574	446	53	29	7	1	38	—
垂 水	1,448	1,195	105	60	36	3	49	—	
西	1,619	1,265	130	96	38	2	87	1	

※1 診断の結果判定が未記入のもの。

※2 要フォロー診は要観察に含む。

3歳児健康診査 歯科診察結果

区 別	受診児 数	むし歯 の総数 (本)	一人平 均むし 歯数 (本)	むし歯 のある 児(人)	むし歯 有病者 率	軟組織 の異常 (人)	咬合の 異常 (人)	その他 の異常 (人)	判定指示事項(人)			フッ化 物塗布 (人)	フッ化 物塗布率
									異常な し	要指導	要精 密		
2021 年度	11,455	3,730	0.33	1,154	10.1%	756	2,825	1,683	5,071	6,384	—	—	—
2022 年度	11,402	2757	0.24	897	7.9%	778	2,977	1,731	4,785	6,617	—	—	—
2023 年度	10,475	2,148	0.21	728	6.9%	762	2,943	1,510	4,479	5,995	1	5,366	51.2%
東 灘	1,893	359	0.19	128	6.8%	162	595	378	709	1184	—	958	50.6%
灘	1,008	157	0.16	51	5.1%	70	282	136	462	546	—	495	49.1%
中 央	885	182	0.21	69	7.8%	100	251	138	348	537	—	448	50.6%
兵 庫	595	167	0.28	53	8.9%	37	166	85	244	351	—	297	49.9%
北	760	152	0.20	48	6.3%	31	209	100	343	416	1	386	50.8%
北神	669	125	0.19	52	7.8%	48	164	77	305	364	—	313	46.8%
長 田	478	258	0.54	69	14.4%	22	103	42	179	299	—	252	52.7%
須磨	549	88	0.16	37	6.7%	31	135	89	268	281	—	319	58.1%
北須磨支所	574	84	0.15	27	4.7%	29	131	59	297	277	—	295	51.4%
垂 水	1,446	211	0.15	78	5.4%	101	439	200	652	794	—	732	50.6%
西	1,618	365	0.23	116	7.2%	131	468	206	672	946	—	871	53.8%

・3歳児健康診査 視聴覚診査結果

区 別	眼 科									耳 鼻 科						
	受診 児数	異常 なし	要精検	要観察	要医療	医療中	要視力 再検査	検査 中止	不明	受診 児数	異常 なし	要観察	要精検	要医療	医療中	
2021 年度	11,367	10,082	933	58	4	204	47	39	－	3,397	2,266	61	56	953	61	
		88.7%	8.2%	0.5%	0.0%	1.8%	0.4%	0.3%	0.0%		66.7%	1.8%	1.6%	28.1%	1.8%	
2022 年度	11,303	9,972	951	34	11	241	49	45	－	3,158	2,084	45	62	901	66	
		88.2%	8.4%	0.3%	0.1%	2.1%	0.4%	0.4%	0.0%		66.0%	1.4%	2.0%	28.5%	2.1%	
2023 年度	10,385	9,023	1,034	34	11	182	70	31	－	3,459	2,284	38	43	1,018	76	
		86.9%	10.0%	0.3%	0.1%	1.8%	0.7%	0.3%	0.0%		66.0%	1.1%	1.2%	29.4%	2.2%	
東 灘	1,882	1,615	209	2	3	37	14	2	－	652	447	5	1	186	13	
灘	1,002	877	89	6	－	16	14	－	－	343	268	1	8	59	7	
中 央	883	775	82	3	－	17	4	2	－	344	205	－	4	114	21	
兵 庫	592	529	44	3	－	13	2	1	－	238	165	4	2	59	8	
北		1,419	1,246	139	2	6	18	3	5	－	442	284	13	8	130	7
	本区	760	666	72	1	5	9	2	5	－	253	152	10	3	86	2
	北神	659	580	67	1	1	9	1	－	－	189	132	3	5	44	5
長 田	446	386	50	1	－	6	2	1	－	167	136	2	1	23	5	
須 磨		1,111	959	123	3	－	19	1	6	－	331	245	1	4	75	6
	本区	541	476	57	－	－	7	－	1	－	180	132	－	－	46	2
	支所	570	483	66	3	－	12	1	5	－	151	113	1	4	29	4
垂 水	1,442	1,277	122	7	－	32	2	2	－	432	217	7	11	191	6	
西	1,608	1,359	176	7	2	24	28	12	－	510	317	5	4	181	3	

オ フォロー健康診査

フォロー健康診査結果

区 別	受 診 児 数		異常なし	要 注 意		要 医 療			相 談 件 数 (延 人 数)			
	実人数	延人数		要指導	要観察	要精密	要医療	医療中	育 児	栄 養	歯 科	精 神 発 達
2021 年 度	579	597	287 48.1%	67 11.2%	185 31.0%	31 5.2%	5 0.8%	16 2.7%	553 92.6%	117 19.6%	— 0.0%	82 13.7%
2022 年 度	897	920	514 55.9%	110 12.0%	213 23.2%	59 6.4%	1 0.1%	19 2.1%	866 94.1%	124 13.5%	— 0.0%	148 16.1%
2023 年 度	785	810	418 51.6%	95 11.7%	198 24.4%	71 8.8%	4 0.5%	21 2.6%	747 92.2%	105 13.0%	— 0.0%	124 15.3%
東 灘	206	219	102	28	63	19	—	6	202	36	—	33
灘	37	38	20	3	9	3	—	3	35	11	—	1
中 央	102	105	52	16	27	9	—	1	101	7	—	25
兵 庫	65	65	34	14	12	2	—	3	51	4	—	10
北		114	62	8	37	11	—	1	115	11	—	14
	本区	66	34	5	24	5	—	1	67	5	—	10
	北神	48	28	3	13	6	—	—	48	6	—	4
長 田	36	36	18	5	2	7	3	1	32	4	—	10
須 磨		82	47	7	14	11	1	3	81	14	—	15
	本区	45	22	6	8	8	—	2	45	5	—	14
	支所	37	25	1	6	3	1	1	36	9	—	1
垂 水	105	106	63	12	21	8	—	2	97	16	—	12
西	38	38	20	2	13	1	—	1	33	2	—	4

※平成28年度報告よりフォロー健診は医師による診察が必要な場合のみとし、心理相談のみを受けたものは実施数に含まない。

カ 精密検査

・乳幼児健康診査 精密検査受診児数（医療機関実施）

区 別	2021 年 度	2022 年 度	2023 年 度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	本区	北神	長 田	須 磨	本区	支所	垂 水	西
一 般	1,228	1,222	1,123	202	100	76	46	170	91	79	34	106	64	42	193	196
専 門	991	991	898	155	59	108	66	187	74	113	38	103	52	51	101	81
	2,219	2,219	2,021	357	159	184	112	357	165	192	72	209	116	93	294	277

・2023 年度 乳幼児健康診査精密検査受診理由及び結果内訳

<<医療機関での乳幼児健康診査精密検査実施分>>

（4か月児健康診査発行分（上位3項目及びその他））

	合計	異常 なし	要観察	観察中	要精検	要医療	医療中
体重増加不良	19	1 5.3%	10 52.6%	2 10.5%	4 21.1%	1 5.3%	1 5.3%
心 雑 音	16	11 68.8%	4 25.0%	— 0.0%	1 6.3%	— 0.0%	— 0.0%
停 留 精 巢	15	4 26.7%	3 20.0%	1 6.7%	— 0.0%	6 40.0%	1 6.7%
そ の 他	113	46 40.7%	34 30.1%	7 6.2%	4 3.5%	13 11.5%	9 8.0%
総 計	163	62	51	10	9	20	11

(1歳6か月児健康診査発行分(上位3項目及びその他))

受診理由	合計	異常なし	要観察	観察中	要精検	要因療	医療中
心 雑 音	28	27	1	—	—	—	—
		96.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
眼位の検査 が 必 要	27	12	9	3	1	1	1
		44.4%	33.3%	11.1%	3.7%	3.7%	3.7%
停 留 精 巢	26	5	15	3	1	2	—
		19.2%	57.7%	11.5%	3.8%	7.7%	0.0%
そ の 他	50	13	23	10	2	—	2
		26.0%	46.0%	20.0%	4.0%	0.0%	4.0%
総 計	131	57	48	16	4	3	3

(3歳児健康診査発行分(上位3項目及びその他))

受診理由	合計	異常なし	要観察	観察中	要精検	要因療	医療中
心 雑 音	74	68	5	1	—	—	—
		91.9%	6.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
低 身 長	45	8	23	10	1	—	3
		17.8%	51.1%	22.2%	2.2%	0.0%	6.7%
停 留 精 巢	30	8	19	2	—	1	—
		26.7%	63.3%	6.7%	0.0%	3.3%	0.0%
そ の 他	39	12	17	2	3	1	4
		30.8%	43.6%	5.1%	7.7%	2.6%	10.3%
総 計	188	96	64	15	4	2	7

(股関節精密検査発行分)

受診理由	合計	異常なし	要観察	観察中	要精検	要因療	医療中
股 関 節 の 異 常	267	176	72	10	9	—	—
		65.9%	27.0%	3.7%	3.4%	0.0%	0.0%

(3歳児健診尿精密検査発行分)

受診理由	合計	異常なし	要観察	観察中	要精検	要因療	医療中
蛋白	84	68	8	—	8	—	—
		81.0%	9.5%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%
潜血	159	95	43	4	15	1	1
		59.7%	27.0%	2.5%	9.4%	0.6%	0.6%
糖	5	4	1	—	—	—	—
		80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総 計	248	167	52	4	23	1	1
		67.3%	21.0%	1.6%	9.3%	0.4%	0.4%

(3歳児健診眼科精密検査発行分)

受診理由	合計	異常なし	要観察	観察中	要精密検	要医療	医療中
視力検査の異常	229	39 17.0%	109 47.6%	23 10.0%	17 7.4%	15 6.6%	26 11.4%
斜視の疑い	72	15 20.8%	9 12.5%	14 19.4%	34 47.2%	— 0.0%	— 0.0%
近視の疑い	72	15 20.8%	9 12.5%	14 19.4%	34 47.2%	— 0.0%	— 0.0%
遠視の疑い	168	8 4.8%	160 95.2%	— 0.0%	— 0.0%	— 0.0%	— 0.0%
乱視の疑い	9	9 100.0%	— 0.0%	— 0.0%	— 0.0%	— 0.0%	— 0.0%
総計	550	86	287	51	85	15	26

※1件の精密検査に対して複数の受診理由がある場合等があるため、合計が受診件数よりも多くなる場合がある。

<<児童相談所での乳幼児健康診査精密検査実施分>>

健診	合計	異常なし	要観察	観察中	要精密	要医療	医療中
1歳6か月	36	—	6	2	—	28	—
3歳児	144	4	28	5	—	107	—
その他	117	1	31	1	1	83	—
計	297	5	65	8	1	218	—

⑥乳幼児健康診査未受診児対策状況

各区保健福祉部で実施している4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の当日未受診児に対してハガキによる受診勧奨と状況把握を行い、連絡が取れない場合は、保健師による家庭訪問等で目視による状況把握に努めている。

・乳幼児健康診査未受診児対策状況

2024年6月末

	対象者数	受診児数	未受診児計		受診不要 (入院中等)		その他確認 (保健師の家庭訪問や 保育所など関係機関から 状況を把握した場合など)		不明 (未把握のため 調査中など)	
			件数	対象者の割合	件数	対象者の割合	件数	対象者の割合	件数	対象者の割合
4か月	8781	8604	31	0.4%	1	0.01%	9	0.1%	5	0.1%
1歳6か月	9349	9187	191	2.0%	2	0.02%	22	0.2%	17	0.2%
3歳	10688	10486	351	3.3%	1	0.01%	37	0.4%	49	0.5%

(3) 各種教室

各種教室を開催している。また、母子健康づくりグループ支援事業、ブックスタート事業（絵本を通じて親子の心のふれあいを育む）、思春期保健対策の一環として専門職によるデリバリー授業（各中学校へ助産師が出向いて性教育を行う）を実施している。

・すくすく赤ちゃんセミナー（5～6か月児）（延べ）

区 別	2021 年度	2022 年度	2023 年度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	本 区	北 神	長 田	須 磨	本 区	支 所	垂 水	西	オン ライ ン
回 数	72	87	98	12	6	12	12	15	9	6	6	11	5	6	12	12	4
保 護 者	293	650	861	136	88	102	79	103	45	58	35	111	60	51	89	118	254
児	207	637	823	135	88	100	77	100	44	56	36	98	52	46	81	108	-

※2020年度～2021年度1月までは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に伴い、集団でのセミナーを中止。

個別相談の件数を計上。ただし2021年度2月以降まん延防止等重点措置発令中は各区・支所の判断で集団を個別に変更。

※各年度の回数、保護者、児の数はオンライン除く

・オンライン両親教室

年度	2022年度	2023年度
実施回数	7回 (妊娠編：3回、出産編：2回、産後編：2回)	12回 (妊娠編：4回、出産編：4回、産後編：4回)
参加組数	235組	493組

※2022年10月より、オンライン両親教室を開始。

・むし歯予防相談会

区 別	2021 年度	2022 年度	2023 年度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	北 神	長 田	須 磨	北 須 磨 支 所	垂 水	西
回 数	71	96	83	12	6	8	10	5	5	6	5	6	10	10
延べ人数	237	533	553	76	16	38	89	33	20	28	27	53	111	62

*1歳6か月児健診 う蝕活動性試験結果のハイリスク児を対象に実施。

・多胎児の子育て教室実施回数と参加者数（延べ）

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	本 区	北 神	長 田	須 磨	本 区	支 所	垂 水	西	オン ライ ン
回数	42	57	66	11	9			10	5	5		6	—	6	12	6	12
保護者	144	162	210	28	22			23	13	10		26	—	26	42	28	41
児	38	228	284	41	40			44	26	18		37	—	37	86	36	—
妊婦	8	3	25	8	2			6	4	2		2	—	2	5	2	—

※2020年4月7日以降、新型コロナウイルス感染対策に伴い中止。2020年10月よりオンライン開催を実施。

2021年度12月より一部の区で再開。斜線は元々教室を実施していない区。

※オンライン開催は、保護者の人数のみ計上。各年度の回数、保護者、児、妊婦の数にオンラインは含まない。

・極低出生体重児の子育て教室（ＹＯＹＯクラブ）（延べ）

年度	2021年度	2022年度	2023年度
実施回数	65（うち27回は合同）	64（うち28回は合同）	58（うち17回は合同）
参加人数	136	122	107

・要フォロー児の子育て教室（延べ）

	2021年度	2022年度	2023年度	東 灘	灘	中央	兵庫	北	本区	北神	長 田	須 磨	本区	支所	垂 水	西
回数	271	299	311	34	24	36	24	60	36	24	23	39	16	23	35	36
保護者	952	1,426	1,648	162	101	182	128	324	220	104	73	198	113	85	238	242
児	901	1,390	1,619	163	99	185	126	314	217	97	72	188	105	83	236	236

※2020年7月～2021年12月、個別相談または小集団に変更し実施。

※2022年1月以降、上限人数の設定を行いながら集団教室再開。

・母子健康づくりグループ支援事業

	総サークル数	事業名	実施場所	支援回数	参加人数（延） 親 / 子	支援サークル数
全区合計	207	子育て広場等	地域福祉センター、児童館、自治会館等	236	1629 / 1678	134

※総サークル数は、各区で登録しているサークルの総数

・ブックスタート事業（延べ）

		2021 年度	2022 年度	2023 年度	東 灘	灘	中央	兵庫	北	本区	北神	長 田	須 磨	本区	支所	垂 水	西	オンライン
ブックレット配布	実施回数	204	199	198	26	22	17	18	33	18	15	13	25	13	12	24	20	
	配布数	9437	8,976	8,604	1,392	832	940	684	1,043	571	472	508	898	431	467	1,157	1,150	
読み聞かせ教室	実施回数	7	88	119	13	10	12	12	16	10	6	18	11	5	6	11	12	4
	参加世帯数	244	770	1,697	150	135	102	79	108	50	58	551	111	60	51	89	118	254
	参加者数	261	1,860	2,854	300	270	202	156	213	99	114	1,108	209	112	97	170	226	—

※ブックレット配布…4健受診者全員

実施回数→4健実施回数

配布数→受診者数

※読み聞かせ教室…すくすく赤ちゃんセミナー

2020年度からオンラインでも実施されたので、項目追加

参加世帯数→保護者の数

・専門職によるデリバリー授業（中学生）

	2021年度		2022年度		2023年度	
	学校数	参加人数	学校数	参加人数	学校数	参加人数
1年生	94	11,378	94	10,798	95	11,180
3年生	82	10,236	91	10,908	89	10,729

(4) こども家庭支援室

子どもの虐待の早期発見、早期対応、未然防止を目的とするプロジェクトチームとして、各区こども家庭支援室を設置しており、こども家庭センターと同じく通告受理機関として虐待や虐待の疑いに関する相談、妊娠期から思春期の子育てに至るまでの相談に対応している。あわせて、児童虐待予防対策として、親支援グループ療法や個別カウンセリングを実施するとともに、子育て支援ネットワークの運営など、地域や関係機関と連携して、地域の子育てを支援している。

・こども家庭支援室相談

こども家庭支援室相談実績（区別）

	2021 年 度	2022 年 度	2023 年 度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	本 区	北 神	長 田	須 磨	本 区	支 所	垂 水	西
面接相談	27,262	24,570	30,401	3,214	2,145	3,022	2,000	5,240	2,335	2,905	1,951	3,325	1,676	1,649	3,745	5,759
電話相談	26,156	37,168	47,122	7,571	4,278	4,520	2,603	8,548	5,969	2,579	2,604	5,349	2,370	2,979	3,708	7,941
計	53,418	61,738	77,523	10,785	6,423	7,542	4,603	13,788	8,304	5,484	4,555	8,674	4,046	4,628	7,453	13,700

・要保護児童対策地域協議会の各区開催実績

(2023 年度)

会 議	内 容	開催回数
代表者会議	・児童虐待の相談状況についての報告（情報交換） ・児童虐待対応事案についての検討（スーパーバイザーや専門職等を交え、多角的な視点から事案を検討する。）	9 回
実務者会議	・ケースの定期的な状況のフォロー ・定例的な情報交換や、個別ケース検討会議で課題となった点の更なる検討 ・支援対象児童等の実態把握や、支援を行っているケースの総合的な把握	155回
個別ケース検討会議	・児童虐待の個別事例についての具体的な支援内容の検討（状況の情報交換と各機関の役割分担の協議・確認）	265回

・養育支援ネットの受付件数

ハイリスク家庭の把握として、特定妊婦、低出生体重児や障害児、親への支援が必要なケースについて、出産や受診した医療機関から情報提供を受け、保健師による訪問を行い、必要に応じて継続的な支援を行なっている。

	2021年度	2022年度	2023年度
連絡受付件数	1,727	1,736	1,729

・親支援グループ療法（グループカウンセリング）（延べ件数）

	2021 年 度	2022 年 度	2023 年 度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	本区	北神	長 田	須 磨	本区	支所	垂 水	西
実施回数	56	61	61	3	—	12	6	22	12	10	—	6	6	0	12	0
参加組数	146	165	153	5	—	23	12	51	23	28	—	23	23	0	39	0

※拠点方式で実施しており、中央区実施分は灘区・中央区が対象、兵庫区実施分は兵庫区・長田区が対象

※2021度は新型コロナウイルス感染症対策に伴い、一部開催を中止。

※2022年度は、上限人数設定を行いながら実施。

・個別カウンセリング療法（延べ件数）

	2021 年 度	2022 年 度	2023 年 度	東灘	灘	中央	兵庫	北	北神	長田	須磨	北須磨	垂水	西
実施回数	227	207	201	34	28	12	18	11	11	18	11	20	21	17
参加組数	484	416	367	52	56	23	27	18	25	38	15	32	39	42

（５）医療給付

・妊娠高血圧症候群（妊娠中毒症）公費負担件数

	件数
2021 年 度	3
2022 年 度	0
2023 年 度	1

・未熟児養育医療費の給付人数

	1,000g 以下	～ 1,500g	～ 2,000g	～ 2,500g	2,501g 以上	合 計
2021 年 度	28	32	103	52	25	240
2022 年 度	21	42	119	46	12	240
2023 年 度	32	37	89	51	21	230

・不妊治療ペア検査助成の件数

	件数
2021 年 度	6
2022 年 度	7
2023 年 度	242

・育成医療給付決定件数

			2021年	2022年	2023年
入院	肢体不自由		14	10	8
	視覚障害		2	3	1
	聴覚・平衡機能障害		3	0	1
	音声・言語・そしゃく機能障害		7	16	4
	内臓	心臓	2	5	2
		腎臓	1	0	0
		小腸	0	0	0
		肝臓	0	0	0
		その他	1	0	0
免疫機能障害		0	0	0	
計		30	34	16	
外来	肢体不自由		18	18	10
	視覚障害		2	3	2
	聴覚・平衡機能障害		2	0	1
	音声・言語・そしゃく機能障害		39	60	38
	内臓	心臓	1	4	2
		腎臓	1	0	0
		小腸	0	0	0
		肝臓	1	1	1
		その他	0	0	0
	免疫機能障害		0	0	0
計		64	86	54	
訪問看護		2	1	1	

(6) 歯科保健

妊娠期では、生まれてくる赤ちゃんのため、両親が自分の歯と口の健康を守ることをめざして、妊婦歯科健康診査などにより、妊娠性歯肉炎、むし歯菌の母子感染予防について啓発している。また、妊娠中に歯肉炎から重度の歯周炎に移行すると、早産や低体重児出産になることがあるため、安定期に入ったすぐの妊娠 16 週から 20 週頃に妊婦歯科健診の受診を勧めている。

乳幼児期では、こどもの歯を守り、かむ・話すなど口の機能を育てることを目標に、歯科健康診査での保健指導および健康教育を通して、規則正しい生活習慣の確立、おやつを選択、仕上げ磨きの習慣化、フッ化物応用などについて啓発している。

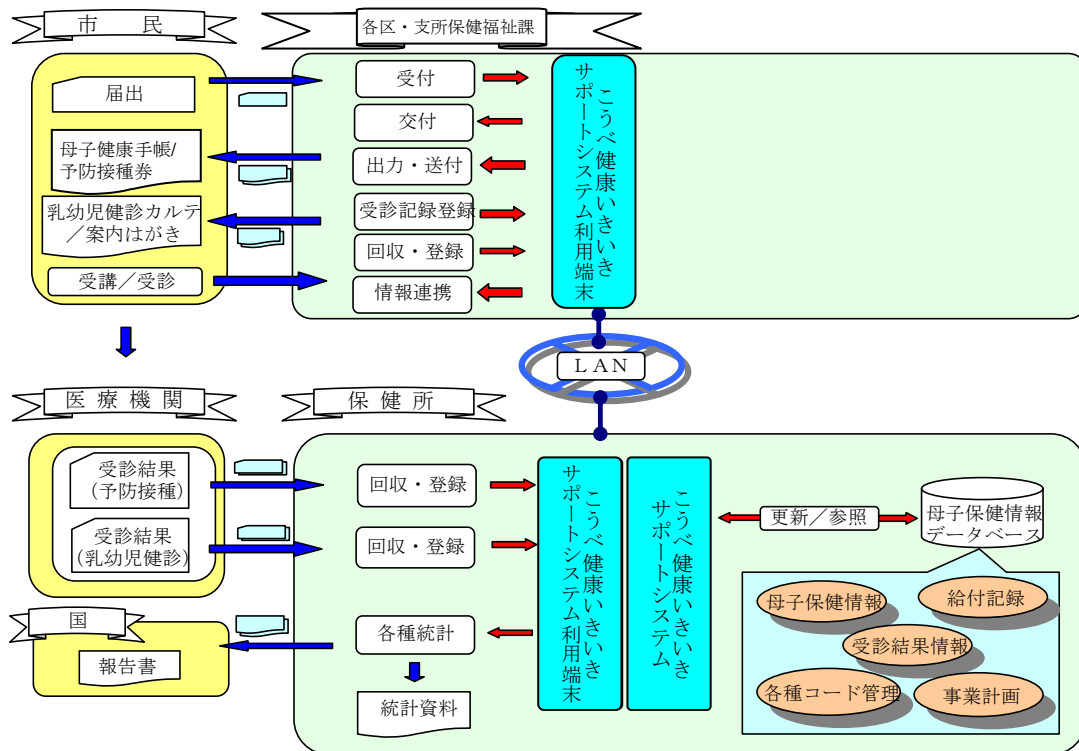
(7) 栄養改善（食育の推進）

乳幼児健康診査等における栄養相談、離乳食の作り方講座、食育セミナーなどを実施するとともに離乳食のすすめ方動画やKOBÉ 食の応援レシピ（子育て篇）といった WEB 上での情報発信、栄養相談ダイヤルでの個別相談を通じて家庭における食育推進、育児不安の解消に取り組んでいる。

(8) こうべ健康いきいきサポートシステム

妊娠期から就学後までの健康面や子育て支援等の各情報をこうべ健康いきいきサポートシステムに集約し、本市における母子保健の現状を把握するとともに、市民サービスの充実と新たな施策展開等へ利用している。

・ こうべ健康いきいきサポートシステムの構成図



第3節 成人・高齢者保健事業

健康増進法等に基づき、市民を対象として、健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導の各種保健事業を実施している。

(1) 健康増進事業

・健康増進事業の実施状況

事業別内容		2021 年度	2022 年度	2023 年度
健康手帳	交付数	－	－	－
健康教育	回数	8	26	17
	参加数	673	751	850
健康相談	回数	76 (直営)63 (委託)13	45 (直営)45	141 (直営)141
	参加数	68 (直営)67 (委託)1	120 (直営)120	402 (直営)402
健康診査	神戸市健康診査	16,220	14,373	14,795
	胃がん検診	20,372	20,244	18,781
	子宮頸がん検診	29,236	30,347	28,949
	乳がん検診	28,741	29,389	28,024
	肺がん検診	32,143	32,563	31,244
	大腸がん検診	81,807	80,199	78,187
訪問指導	実人数	1	9	256
	延人数	1	17	290

※2008 年度より、40 歳～74 歳は各医療保険者が加入者に対し、特定健康診査を行うことが義務づけられた。そのため、本市は 39 歳以下の人、もしくは 40 歳以上の医療保険に加入していない生活保護受給者を対象に神戸市健康診査を実施している。また、後期高齢者医療制度加入者の健康診査を後期高齢者健康診査として実施している。上記表の神戸市健康診査は、後期高齢者健康診査含む。

※健康手帳は、2017 年度よりホームページ上でのダウンロードによる配布に変更。

(2) 健康教育

住民に身近な地域福祉センターや集会所等において、以下について実施している。

ア 生活習慣病の予防、その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資することを目的としたもの。

イ 健康寿命を延ばして生活の質を高めるため、介護予防、転倒予防等を目的としたもの。

・2023年度 集団健康教育実績

主たる対象者	東灘		灘		中央		兵庫		北		長田		須磨		垂水		西		保健所		計	
	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
歯周疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	166	8	166
ロコモティブシンドローム	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
病態別	—	—	1	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	100	2	116
薬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	38	2	38
一般	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6	4	524	5	530
COPD	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	1	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	6	15	828	17	850

(3) 健康相談

健康づくりや健康に対する不安、健診結果について、各区支所保健福祉課において健康相談を実施している。

・2023年度 相談人数実績 141回実施

	相談内訳	合計	件数									
			東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	保健所
重点健康相談	高血圧	32	8	1	4	2	—	3	—	9	5	—
	脂質異常症	63	7	1	11	3	2	5	8	4	22	—
	糖尿病	53	7	9	10	2	2	6	6	1	10	—
	骨粗鬆症	5	1	—	1	—	—	—	—	2	1	—
	女性の健康	3	—	—	1	—	1	—	—	1	—	—
	病態別	135	21	12	14	13	11	7	17	29	11	—
	歯周疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	総合健康相談	111	19	10	—	10	8	16	2	29	17	—
	合計	402	63	33	41	30	24	37	33	75	66	—

また、高齢者やその家族が健康状態について相談できる機会として、2021年11月より「シニア健康相談ダイヤル」を開設した。看護師（兵庫県看護協会委託）が、電話で健康に関する相談やアドバイスを行い、必要時適切な関係機関につないでいる。

・シニア健康相談ダイヤル相談件数

	2021年度 (2021年11月～)	2022年度	2023年度
相談件数	1,619	2,209	1,914

(4) 健康診査

①神戸市健康診査

39歳以下の人、もしくは40歳以上の医療保険に加入していない生活保護受給者を対象に実施している。また、後期高齢者医療制度加入者の健康診査を後期高齢者健康診査として実施している。

・神戸市健康診査受診者数（性別・年代別）

区 別			2023年度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	長 田	須 磨	垂 水	西
総数			2,704	291	255	305	313	289	283	326	328	314
男性			913	80	95	111	118	92	106	117	95	99
女性			1,791	211	160	194	195	197	177	209	233	215
内 訳	39歳以下	総 数	1,457	195	143	166	135	170	100	168	180	200
		男 性	375	37	42	57	34	39	28	49	37	52
		女 性	1,082	158	101	109	101	131	72	119	143	148
	40歳以上生活保護受給者等	総 数	1,247	96	112	139	178	119	183	158	148	114
		男 性	538	43	53	54	84	53	78	68	58	47
		女 性	709	53	59	85	94	66	105	90	90	67

・神戸市健康診査総合判定結果

区 別	令和 2023年度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	長 田	須 磨	垂 水	西
総 数	2,704	291	255	305	313	289	283	326	328	314
異 常 認 め ず	466	64	40	50	49	52	42	41	65	63
要 指 導	970	116	89	108	102	108	94	120	114	119
要 医 療	1,268	111	126	147	162	129	147	165	149	132

②後期高齢者健康診査

後期高齢者医療制度加入者を対象に後期高齢者健康診査として実施している。

・後期高齢者健康診査受診者数

区別		2021年度	2022年度	2023年度
計	総 数	14,010	11,977	12,091
	男 性	6,207	5,335	5,345
	女 性	7,803	6,642	6,746
集団健診	総 数	6,853	6,705	7,415
	男 性	3,315	3,200	3,482
	女 性	3,538	3,505	3,933
個別健診	総 数	7,157	5,272	4,676
	男 性	2,892	2,135	1,863
	女 性	4,265	3,137	2,813

③神戸市国保の特定健康診査・特定保健指導

生活習慣病の早期発見・重症化予防を目的として、40歳～75歳未満の神戸市国保加入者を対象に実施している。

・2023年度受診券発行数：216,694件

・2023年度受診者数（2024年3月末現在速報値）（人）

個別健診	集団健診	合 計	受診率（％）
28,164	38,364	66,528	30.7%

・2022年度法定報告

区別		全市	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
総 数	対象者数	199,303	24,059	15,777	18,036	14,872	28,574	14,711	22,443	28,020	32,811
	受診者数	63,507	7,742	5,130	5,075	3,880	9,064	3,861	7,355	9,191	12,209
	受診率	31.9%	32.2%	32.5%	28.1%	26.1%	31.7%	26.2%	32.8%	32.8%	37.2%
男 性	対象者数	88,608	10,109	6,935	7,970	7,269	12,669	7,128	9,767	12,236	14,525
	受診者数	25,448	3,019	2,053	1,927	1,642	3,662	1,613	2,888	3,614	5,030
	受診率	28.7%	29.9%	29.6%	24.2%	22.6%	28.9%	22.6%	29.6%	29.5%	34.6%
女 性	対象者数	110,695	13,950	8,842	10,066	7,603	15,905	7,583	12,676	15,784	18,286
	受診者数	38,059	4,723	3,077	3,148	2,238	5,402	2,248	4,467	5,577	7,179
	受診率	34.4%	33.9%	34.8%	31.3%	29.4%	34.0%	29.6%	35.2%	35.3%	39.3%

・特定保健指導（2022年度法定報告）

	対象者	終了者数	実施率
積極的支援	1,496	206	13.8%
動機付け支援	5,223	1,372	26.3%
合計	6,719	1,578	23.5%

※実施率：対象者（階層化の結果、積極的支援又は動機付け支援のいずれかに該当）のうち、特定保健指導を終了した者の数

④肝炎ウイルス検査

集団健診会場にて、肝炎ウイルス検査を過去に受けたことがない当年度40歳以上の市民を対象に実施している。また、満20歳以上の市民を対象に「神戸市肝炎ウイルス検査事業」による指定医療機関での肝炎ウイルス検査を実施している。

・肝炎ウイルス検査 実施状況（集団健診と医療機関実施分）

区別	2021 年度	2022 年度	2023 年度	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
肝炎検査 受診者数	12,575	15,232	14,201	1,402	1,533	872	2,128	1,525	732	1,528	2,136	2,345
B型肝炎 陽性者数	67 0.53%	78 0.51%	60 0.42%	3 0.21%	4 0.26%	8 0.92%	16 0.75%	5 0.33%	5 0.68%	5 0.33%	6 0.28%	8 0.34%
C型肝炎 陽性者数	11 0.09%	15 0.10%	14 0.10%	1 0.07%	1 0.07%	1 0.11%	2 0.09%	— 0.00%	2 0.27%	2 0.13%	4 0.19%	1 0.04%

⑤骨粗しょう症検診

骨粗しょう症の早期発見、骨折予防を目的として、40歳以上の男性及び18歳以上の女性を対象に実施している。

・骨粗しょう症検診（超音波測定法）受診者数

	2021年度	2022年度	2023年度
受診者(人)	13,455	13,650	13,539
要精検者(人)	2,122	2,680	1,813
要精検率(%)	15.8%	19.6%	13.4%

⑥各種がん検診

本市において、がんは令和4年の全死因の25.6%を占めており、がん検診を重要な事業として位置付けて実施している。

・がん検診実施一覧

検診名	対象者	検診内容	実施機関	自己負担金	(参考) 新たなステージに入ったがん検診総合支援事業
胃がん検診	X線検査	問診 胃部間接X線検査	兵庫県予防医学協会 (検診車)	500円	50歳、60歳の方に対し受診勧奨ハガキを送付。
	内視鏡検査	問診 胃内視鏡検査	指定医療機関 (107施設)	2,000円	
肺がん検診	満40歳以上	問診 胸部直接X線検査 (喀痰細胞診)	指定医療機関 (457施設)	1,000円	
大腸がん検診	満40歳以上	問診 便潜血検査2日法	郵送方式 (11月～2月) 集団健診とセット (通年)	500円	
子宮頸がん検診	当年度20歳以上の偶数歳の誕生日を迎える女性 (2年度に1回)	問診 視診 内診 細胞診(頸部)	指定医療機関 (86施設)	1,700円	20歳の方に無料クーポン券を送付。 また、30歳、50歳、60歳の方に受診勧奨ハガキを送付。
乳がん検診	当年度40歳以上の偶数歳の誕生日を迎える女性 (2年度に1回)	問診 マンモグラフィ ブレストアウェアネスの励め	指定医療機関 (47施設) 兵庫県予防医学協会 (検診車)	40歳代 2,000円 50歳代以上 1,500円	50歳、60歳の方に受診勧奨ハガキを送付。
前立腺がん検診	50歳以上の男性に推奨	P S A (前立腺特異抗体) 検査	集団健診とセット 単独実施可	1,000円 1,500円	—

・胃がん検診実施状況 (2022年度下段の年齢別は2022年度の内訳)

年齢別	受診者数	要精検者数						未把握	がん発見率(%)
			精検受診者数	異常認めず	がんであった者	がんの疑いのある者または未確定	がん以外の疾患であった者		
2020年度	16,956	548	372	17	31	13	311	176	0.18%
2021年度	20,372	721	562	31	31	25	475	159	0.15%
2022年度	20,246	687	554	83	39	8	424	103	0.19%
40歳～44歳	2,673	73	63	11	—	—	52	10	0.00%
45歳～49歳	1,192	42	36	5	—	—	31	6	0.00%
50歳～54歳	2,128	45	36	7	—	—	29	8	0.00%
55歳～59歳	1,576	40	29	5	1	—	23	10	0.06%
60歳～64歳	2,341	57	38	5	3	2	28	14	0.13%
65歳～69歳	2,832	104	84	8	9	—	67	11	0.32%
70歳～74歳	4,659	193	153	23	11	4	115	31	0.24%
75歳～79歳	1,930	92	80	12	10	1	57	10	0.52%
80歳以上	915	41	35	7	5	1	22	3	0.55%
2023年度	18,781								

〔注〕地域保健・健康増進事業報告より

・子宮頸がん検診実施状況（2022年度下段の年齢別は2022年度の内訳）

年 齢 別	受診者数	要精 検 者 数	精 検 受 診 者 数	異 常 認 め ず	が ん で あ た 者	腺 形 で あ た 者	AIS で あ た 者	CIN3 で あ た 者	CIN3ま たは AISで あ た 者	CIN2 で あ た 者	CIN3又 はCIN2 のい ず れ か 区 別 な い 者	CIN1 で あ た 者	が ん の 疑 い あ る が 未 だ 確 定 な い 者	が ん 及 び 異 形 成 等 の 疾 患 あ る 者	未 診	未 把 握	が ん 発 見 率 (%)
2020年度	23,045	597	469	71	10		—	57		49	—	100	177	4	42	86	0.04%
2021年度	29,236	647	538	92	10		1	57		69	—	105	198	6	53	56	0.03%
2022年度	30,347	681	576	104	12		1	76		58	1	132	186	6	53	50	0.04%
20 歳 ～ 24 歳	1,657	101	78	12	—		—	—		7	—	24	35	—	18	5	0.00%
25 歳 ～ 29 歳	1,163	65	60	8	—		—	4		3	—	17	28	—	3	2	0.00%
30 歳 ～ 34 歳	2,262	97	87	18	1		—	16		7	—	21	24	—	4	5	0.04%
35 歳 ～ 39 歳	1,713	51	48	10	1		—	8		9	1	7	12	—	2	1	0.06%
40 歳 ～ 44 歳	5,684	153	122	19	2		—	30		12	—	33	26	—	13	17	0.04%
45 歳 ～ 49 歳	2,981	57	51	12	1		—	3		8	—	9	18	—	2	4	0.03%
50 歳 ～ 54 歳	4,177	61	47	8	2		1	4		2	—	10	19	1	6	8	0.05%
55 歳 ～ 59 歳	2,072	19	15	5	1		—	3		3	—	2	1	—	1	3	0.05%
60 歳 ～ 64 歳	2,861	32	27	4	1		—	2		4	—	2	12	2	3	2	0.03%
65 歳 ～ 69 歳	1,779	15	13	3	1		—	2		1	—	1	5	—	—	2	0.06%
70 歳 ～ 74 歳	2,617	16	14	4	1		—	2		1	—	3	3	—	1	1	0.04%
75 歳 ～ 79 歳	767	4	4	—	—		—	2		—	—	1	1	—	—	—	0.00%
80歳以上	614	10	10	1	1		—	—		1	—	2	2	3	—	—	0.16%
2023年度	28,949																

〔注〕 地域保健・健康増進事業報告より

・乳がん検診実施状況（2022年度下段の年齢別は2022年度の内訳）

年 齢 別	受 診 者 数			要 精 検 者 数	精 検 者 数					未 受 診	未 把 握	が ん 発 見 率 (%)
	総 数	個 別	集 団		精 検 受 診 者 数	異 常 不 明 確	が ん で あ っ た 者	が ん の 疑 い の あ る 者 ま た は 未 確 定	が ん 以 外 の 疾 患 で あ っ た 者			
2020年度	23,353	14,911	8,442	1,300	1,205	663	110	34	398	—	95	0.47%
2021年度	28,741	18,816	9,925	2,291	1,988	1,210	165	79	534	6	297	0.57%
2022年度	29,390	19,795	9,595	2,034	1,843	1,112	176	59	496	4	187	0.60%
40歳～44歳	5,461	4,248	1,213	506	452	263	18	12	159	—	54	0.33%
45歳～49歳	3,009	2,307	702	252	235	136	16	2	81	3	14	0.53%
50歳～54歳	4,636	3,542	1,094	329	293	173	22	7	91	—	36	0.47%
55歳～59歳	2,625	1,892	733	155	142	81	19	9	33	—	13	0.72%
60歳～64歳	3,938	2,630	1,308	227	209	139	27	8	35	—	18	0.69%
65歳～69歳	2,735	1,537	1,198	149	134	84	15	6	29	1	14	0.55%
70歳～74歳	4,578	2,244	2,334	245	218	133	33	8	44	—	27	0.72%
75歳～79歳	1,555	817	738	106	97	69	10	3	15	—	9	0.64%
80歳以上	853	578	275	65	63	34	16	4	9	—	2	1.88%
2023年度	28,024											

〔注〕地域保健・健康増進事業報告より

・肺がん検診実施状況（2022年度下段の年齢別は2022年度の内訳）

年 齢 別	受 診 者 数	要 精 検 者 数	精 検 者 数					未 把 握	未 受 診	が ん 発 見 率 (%)
			精 検 受 診 者 数	異 常 不 明 確	が ん で あ っ た 者	が ん の 疑 い の あ る 者 ま た は 未 確 定	が ん 以 外 の 疾 患 で あ っ た 者			
2020年度	27,239	521	438	175	5	34	224	83		0.02%
2021年度	32,128	506	425	173	7	46	199	81		0.02%
2022年度	32,564	625	573	517	—	28	28	52		0.00%
40歳～44歳	3,059	25	24	24	—	—	—	1		0.00%
45歳～49歳	1,472	12	12	11	—	1	—	—		0.00%
50歳～54歳	1,975	16	15	13	—	1	1	1		0.00%
55歳～59歳	1,674	23	20	15	—	3	2	3		0.00%
60歳～64歳	2,564	36	32	24	—	2	6	4		0.00%
65歳～69歳	4,002	81	66	55	—	5	6	15		0.00%
70歳～74歳	8,340	152	144	127	—	7	10	8		0.00%
75歳～79歳	4,680	96	91	90	—	1	—	5		0.00%
80歳以上	4,798	184	169	158	—	8	3	15		0.00%
2023年度	31,244									

〔注〕地域保健・健康増進事業報告より

・大腸がん検診実施状況（2022年度下段の年齢別は2022年度の内訳）

年 齢 別	受診者数	要 精 検 数	精 検 受 診 者 数	異 常 認 め ず	が ん で あ っ た 者	が ん の 疑 い の あ る 者 ま た は 未 確 定	が ん 以 外 の 疾 患 で あ っ た 者	未 受 診	未 把 握	が ん 発 見 率 (%)
2020年度	79,873	4,397	3,216	589	171	1	2,455	494	687	0.21%
2021年度	81,807	4,271	3,141	553	206	—	895	381	749	0.25%
2022年度	80,199	4,012	2,890	524	156	3	639	409	713	0.19%
40歳～44歳	4,956	230	146	52	3	—	49	33	51	0.06%
45歳～49歳	4,695	178	118	35	2	—	33	19	41	0.04%
50歳～54歳	6,133	233	166	39	4	—	48	28	39	0.07%
55歳～59歳	6,389	235	172	32	9	—	37	26	37	0.14%
60歳～64歳	8,576	368	275	59	13	—	62	43	50	0.15%
65歳～69歳	12,074	540	428	61	33	—	80	54	58	0.27%
70歳～74歳	18,250	949	740	103	48	—	144	109	100	0.26%
75歳～79歳	9,624	537	420	58	25	3	86	64	53	0.26%
80歳以上	9,502	742	425	85	19	—	100	33	284	0.20%
2023年度	78,187									

〔注〕地域保健・健康増進事業報告より

・前立腺がん検診実施状況（2022年度下段の年齢別は2022年度の内訳）

	受診者数	要精検者数	精検受診者数	生検施行数	精 密 検 査 結 果						がん発見率 (%)
					異 常 認 め ず	が ん で あ っ た 者	が ん の 疑 い の あ る 者	前立腺肥大	前立腺炎	その他	
2020年度	9,479	650	303	49	59	27	107	162	18	11	0.28
2021年度	9,893	698	319	45	76	28	145	183	16	7	0.28
2022年度	10,465	713	193	49	73	25	126	195	17	21	0.24
～49歳	556	6	3	—	4	—	1	2	1	—	0.00
50歳～54歳	563	17	2	2	3	1	2	2	—	—	0.18
55歳～59歳	611	22	10	3	6	—	3	7	—	2	0.00
60歳～64歳	860	62	16	2	11	1	9	19	2	2	0.12
65歳～69歳	1,842	134	42	6	13	4	31	38	4	4	0.22
70歳～74歳	3,526	262	69	20	22	11	36	68	6	10	0.31
75歳～79歳	1,671	144	35	11	13	4	27	40	3	2	0.24
80歳以上	836	66	16	5	1	4	17	19	1	1	0.48
2023年度	11,873										

・ 2022 年度がん検診精度管理

	胃がん	子宮頸がん	乳がん	肺がん	大腸がん
精検受診率	80.6%	84.6%	90.6%	91.7%	72.0%
未把握率	15.0%	7.7%	9.2%	8.3%	17.8%
精検未受診率	0.0%	7.8%	0.2%	0.0%	10.2%
精検未受診率・未把握率	15.0%	15.1%	9.4%	8.3%	28.0%
要精検率	3.4%	2.2%	6.9%	1.9%	5.0%
がん発見率	0.19%	0.04%	0.60%	0.00%	0.19%
陽性反応的中度	5.7%	1.8%	8.7%	0.0%	3.9%

⑦40 歳総合健診

・ 40 歳総合健診受診者数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
総数	11,738	11,843	10,555
胃がん検診	1,422	1,842	1,321
肺がん検診	1,873	1,811	1,714
大腸がん検診	1,717	1,548	1,584
子宮頸がん検診	2,682	2,659	2,326
乳がん検診	2,668	2,615	2,358
歯周病検診	1,376	1,368	1,252

・40歳総合健診歯周病検診（個別検診：医療機関委託）結果

	2021 年度	2022 年度	2023年度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	長 田	須 磨	垂 水	西
受診者数(人)	1,376	1,368	1,252	177	152	119	72	156	46	145	204	181
対象者数 (人)	17,898	18,009	17,930	2,611	1,676	2,029	1,332	2,262	1,030	1,691	2,651	2,648
受診率	7.7%	7.6%	7.0%	6.8%	9.1%	5.9%	5.4%	6.9%	4.5%	8.6%	7.7%	6.8%
未処置歯のある者(人)	491	472	422 (30.7%)	70	48	44	28	47	16	48	60	61
処置歯のある者(人)	1,308	1,285	1,172 (85.2%)	169	139	104	70	149	41	138	194	168
要補綴歯のある者(人)	14	18	21 (1.5%)	1	2	5	2	4	—	3	2	2
欠損補綴歯のある者(人)	86	83	85 (6.2%)	8	6	10	4	13	5	15	10	14
①異常なし	69	74	93 (6.8%)	14	8	12	4	13	3	10	13	16
要指導 ※	1,208	1,205	1,055 (76.7%)	147	130	99	57	133	39	121	178	151
②BOP最大値1かつPD最大値0	355	370	304 (22.1%)	54	38	29	14	33	13	32	60	31
③口腔清掃状態(不良)	125	121	96 (7.0%)	11	7	12	4	12	5	3	20	22
④歯石の付着(軽度・中等度)	1,141	1,145	1,005 (73.0%)	138	125	95	53	129	36	116	167	146
⑤その他問診項目からの指導	40	52	30 (2.2%)	3	4	1	1	3	2	3	3	10
要精密検査 ※	907	905	789 (57.3%)	108	85	76	49	92	24	100	131	124
⑥PDの最大値が1か2	684	664	601 (43.7%)	76	60	54	40	75	13	81	104	98
⑦未処置歯あり	490	471	419 (30.5%)	70	48	44	28	47	16	47	59	60
⑧要補綴歯あり	12	17	16 (1.2%)	1	2	4	1	3	—	2	2	1
⑨その他治療や検査を要する	20	31	25 (1.8%)	7	2	3	—	—	1	2	4	6

※重複あり (内訳の割合(%)は受診者数を母数として算出)

⑧歯周病検診

歯周病は、歯の喪失の主な原因であり、糖尿病など様々な全身の健康に影響するため、早期に検診を受けて予防につなげることが重要である。かかりつけ歯科医の定着を推進するため、実施医療機関での個別検診を40歳、50歳、60歳で実施している。

・50歳歯周病検診（個別検診：医療機関委託）結果

	2021年度	2022年度	2023年度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	長 田	須 磨	垂 水	西
受診者数(人)	2,403	2,532	2,469	420	250	176	122	348	101	274	374	404
対象者数 (人)	23,916	24,606	25,124	3,684	2,304	2,334	1,760	3,495	1,542	2,508	3,563	3,934
受診率%	10.0%	10.3%	9.8%	11.4%	10.9%	7.5%	6.9%	10.0%	6.5%	10.9%	10.5%	10.3%
未処置歯のある者(人)	777	788	717 (29.0%)	107	73	79	33	92	33	91	91	118
処置歯のある者(人)	2,344	2,480	2,424 (98.2%)	411	246	174	118	339	99	269	370	398
要補綴歯のある者(人)	75	95	88 (3.6%)	13	1	7	2	6	5	16	17	21
欠損補綴歯のある者(人)	455	419	398 (16.1%)	64	37	25	26	52	24	42	63	65
判定区分(人)												
①異常なし	114	118	348 (14.1%)	53	45	18	20	41	15	41	58	57
要指導※	2,152	2,276	2,206 (89.3%)	381	214	162	107	316	89	240	331	366
②BOP最大値1かつPD最大値0	524	535	566 (22.9%)	106	62	44	26	65	20	81	76	86
③口腔清掃状態(不良)	214	228	226 (9.2%)	35	22	27	11	28	7	19	32	45
④歯石の付着(軽度・中等度)	2,069	2,188	2,117 (85.7%)	366	204	158	102	307	85	233	316	346
⑤その他問診項目からの指導	76	80	74 (3.0%)	16	10	6	1	7	4	2	6	22
要精密検査※	1,591	1,722	1,618 (65.5%)	249	148	127	82	245	63	177	241	286
⑥PDの最大値が1か2	1,281	1,392	1,318 (53.4%)	198	117	97	73	201	49	134	206	243
⑦未処置歯あり	771	785	710 (28.8%)	104	73	79	33	92	33	90	90	116
⑧要補綴歯あり	67	90	72 (2.9%)	10	1	5	2	5	3	14	15	17
⑨その他治療や検査を要する	54	60	58 (2.3%)	12	6	—	5	9	3	1	7	15

※重複あり 内訳の割合(%)は受診者数を母数として算出

・60歳歯周病検診（個別検診：医療機関委託）結果

	2021年度	2022年度	2023年度	東 灘	灘	中 央	兵 庫	北	長 田	須 磨	垂 水	西
受診者数(人)	2,434	2,652	2,541	417	235	179	110	378	126	308	328	460
対象者数 (人)	17,956	18,662	19,151	2,822	1,640	1,619	1,256	2,700	1,258	2,104	2,557	3,195
受診率	13.6%	14.2%	13.3%	14.8%	14.3%	11.1%	8.8%	14.0%	10.0%	14.6%	12.8%	14.4%
未処置歯のある者(人)	759	721	726 (28.6%)	130	57	55	49	84	40	105	74	132
処置歯のある者(人)	2,409	2,634	2,522 (99.3%)	413	233	176	110	375	124	306	326	459
要補綴歯のある者(人)	142	179	149 (5.9%)	27	9	10	4	19	8	21	16	35
欠損補綴歯のある者(人)	921	998	943 (37.1%)	164	76	67	45	143	61	115	119	153
判定区分(人)												
①異常なし	97	117	139 (5.5%)	26	11	14	3	19	8	13	24	21
要指導 ※	2,187	2,360	2,234 (87.9%)	364	213	155	98	330	110	275	288	401
②BOP最大値1かつPD最大値0	419	455	404 (15.9%)	71	48	28	15	43	11	67	55	66
③口腔清掃状態(不良)	271	270	291 (11.5%)	51	25	28	12	50	14	28	36	47
④歯石の付着(軽度・中等度)	2,116	2,269	2,144 (84.4%)	349	202	149	93	323	108	264	276	380
⑤その他問診項目からの指導	69	94	80 (3.1%)	15	7	4	6	7	2	6	4	29
要精密検査 ※	1,771	1,901	1,809 (71.2%)	296	147	117	86	269	91	228	229	346
⑥PDの最大値が1か2	1,481	1,628	1,540 (60.6%)	237	121	99	70	243	80	185	206	299
⑦未処置歯あり	756	717	719 (28.3%)	130	56	55	48	81	39	105	73	132
⑧要補綴歯あり	126	152	128 (5.0%)	23	8	9	4	16	7	18	13	30
⑨その他治療や検査を要する	72	79	66 (2.6%)	13	5	3	—	8	4	7	4	22

※重複あり (内訳の割合(%)は受診者数を母数として算出)

⑨後期高齢者(75歳)歯科健康診査

高齢になり、口の機能が低下すると、全身の健康や生活の質(QOL)にも影響を及ぼすことから、歯科健診を受けて口の健康を保ち、健康寿命を延ばすことを目的として、後期高齢者医療制度の被保険者(75歳)を対象とした歯科健康診査を2015年9月から実施している。2020年度より口腔機能(咀嚼、舌口唇運動、嚥下など)の状態を判定する検査を加え、オーラルフレイルもチェックできる健診となっている。

・後期高齢者(75歳)歯科健康診査(個別検診:医療機関委託)結果

		2021 年度	2022 年度	2023年度		東 瀧	瀬	中 央	兵 庫	北	長 田	須 磨	垂 水	西
居住区別受診者数(人)		1,073	1,777	2,928		375	248	207	127	479	120	345	495	532
対象者数	(人)	12,969	17,548	23,608		2,964	1,872	1,720	1,476	3,722	1,488	2,908	3,582	3,876
	受診率	8.3%	10.1%	12.4%		12.7%	13.2%	12.0%	8.6%	12.9%	8.1%	11.9%	13.8%	13.7%
未処置歯のある者(人)		293	420	669 (22.8%)		106	38	55	34	100	30	86	94	126
処置歯のある者(人)		1,048	1,735	2,866 (97.9%)		367	245	205	120	475	117	332	484	521
要補綴歯のある者(人)		141	229	376 (12.8%)		48	27	28	8	61	22	58	49	75
欠損補綴歯のある者(人)		754	1,238	2,094 (71.5%)		258	183	143	96	338	95	244	361	376
健診結果 (人) ※内訳(重複あり)	問題なし	136	237	1,240 (42.3%)		155	132	81	44	198	54	118	248	210
	要指導	846	1,365	708 (24.2%)		90	54	44	38	127	27	90	107	131
	要治療・要精密検査	823	1,424	975 (33.3%)		130	61	82	45	152	39	137	139	190
	むし歯	268	401	512 (17.5%)		79	26	42	22	72	23	74	68	106
	ブリッジや義歯	178	315	335 (11.4%)		37	22	26	16	53	16	47	51	67
	粘膜の異常	20	33	16 (0.5%)		4	2	2	2	2	—	1	—	3
	歯周組織の異常	200	331	381 (13.0%)		50	30	40	15	61	16	46	58	65
	顎関節の異常	42	62	41 (1.4%)		10	2	3	3	9	1	2	6	5
	その他	22	41	100 (3.4%)		18	8	8	6	16	3	13	14	14
	オーラル フレイル チェック 結果(人)	問題なし	—	—	695 (23.7%)		96	69	40	18	131	37	74	121
オーラルフレイルに該当		—	—	1,629 (55.6%)		212	138	117	82	264	64	186	266	300
口腔機能低下症の可能性あり		—	—	604 (20.6%)		67	41	50	27	84	19	85	108	123
今後の方 針(人)	口腔機能トレーニング勧奨	—	—	1,689 (57.7%)		205	155	120	68	285	71	182	328	275
	治療・要精密検査の勧奨	—	—	1,132 (38.7%)		159	80	82	57	175	47	153	153	226
	あんしんすこやかセンターへ紹介	—	—	107 (3.7%)		11	13	5	2	19	2	10	14	31

※重複あり (内訳の割合(%)は受診者数を母数として算出)

⑩オーラルフレイルチェック事業

オーラルフレイルは、口の機能の衰えをいい、口が渇く、滑舌が悪い、わずかにむせる、食べこぼす、飲み込みにくい、噛めない食品の増加などの状態です。放置すると、4年後にはフレイル（心身の活力の低下）や要介護状態に2.4倍なりやすいといわれている。2021年9月より65歳の市民を対象に地域の歯科医院においてオーラルフレイルチェック事業を開始した。

・オーラルフレイルチェック結果 《居住区別》

	2021 年度	2022 年度	2023年度	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	
利用者数(人)	2,083	2,638	2,437	382	188	153	100	374	106	262	363	509	
対象者数 (人)	17,353	17,301	17,106	2,423	1,294	1,318	1,126	2,510	1,099	1,886	2,409	3,041	
利用率	12.0%	15.2%	14.2%	15.8%	14.5%	11.6%	8.9%	14.9%	9.6%	13.9%	15.1%	16.7%	
チェック結果(人) ※内訳(重複あり)	問題なし	437	607	706 (29.0%)	121	60	47	26	110	33	86	83	140
	オーラルフレイルに該当	1,385	1,678	1,458 (59.8%)	231	119	86	55	220	63	141	238	305
	口腔機能低下症の可能性あり	261	353	273 (11.2%)	30	9	20	19	44	10	35	42	64
	むし歯	248	476	526 (21.6%)	86	20	33	27	78	26	72	77	107
	ブリッジや義歯	120	227	260 (10.7%)	37	15	16	14	41	11	33	28	65
	粘膜の異常	19	30	47 (1.9%)	15	7	3	1	12	1	1		7
	歯周組織の異常	194	305	409 (16.8%)	61	21	21	15	79	18	44	66	84
	顎関節の異常	55	122	112 (4.6%)	13	9	8	6	36	5	5	15	15
	その他	10	15	146 (6.0%)	23	12	10	4	22	10	22	11	32
今後の方針 (重複あり)	口腔機能トレーニング勧奨	1,505	1,998	1,656 (68.0%)	264	130	113	58	255	62	170	266	338
	治療・精密検査の勧奨	768	922	923 (37.9%)	134	64	53	48	135	53	110	121	205
	あんしんすこやかセンターへ紹介	50	56	72 (3.0%)	10	5	8	1	16	2	1	8	21

※内訳の割合(%)は受診者数を母数として算出

(5) 訪問指導

生活習慣病予防・介護予防のために、健康診査の要指導者、介護家族者、介護保険対象者以外の寝たきり者及び認知症の者に対して、保健師が訪問を行っている。

・訪問指導人数

区別	実人数	合計（延人数）	内訳						
			要指導者	個別健康教育対象者	閉じこもり予防	介護家族者	寝たきり者	認知症	その他
2021年度	1	1	—	—	—	—	—	—	1
2022年度	9	17	7	—	—	—	2	7	1
2023年度	256	290	246	8	2	2	11	4	17

(6) 訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業

歯の治療・口腔ケアが必要であるにも関わらず、通院不可能で、本人もしくは家族が診療などを希望する方を対象に、歯科保健推進室(公益社団法人 神戸市歯科医師会運営)が窓口となり、歯科医師または歯科衛生士が訪問し、歯科診療および口腔ケアを行い、口腔機能の維持改善を図っている。

・訪問歯科診療事業

	利用者数※	訪問回数	受付人数	性別		年代別						主訴内容（重複有）				
				男性	女性	59歳以下	60代	70代	80代	90代	100歳以上	歯が痛い・しみる・歯ぐきが痛い・腫れている・虫歯他	入れ歯が合わない	入れ歯が壊れた	入れ歯を新しく作りたい	その他
2021年度	128	549	139	60	79	6	11	33	46	42	1	49	35	6	21	74
2022年度	152	623	130	66	86	6	11	33	70	31	1	48	47	16	21	74
2023年度	192	732	214	104	110	29	14	39	88	43	1	69	39	7	16	120

※受付人数と利用者数の差は入院・死亡等で診療を受けなかったケースがあるため。

・訪問口腔ケア

	2021年度	2022年度	2023年度	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
受付累計人数	112	123	187	63	8	20	14	9	14	7	37	15
訪問回数	959	1,034	1,492	627	115	94	62	69	22	12	400	91

(7) 神戸市国民健康保険保健事業

第2期神戸市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）（平成30～令和5年度）に基づく保健事業を実施し、国民健康保険加入者の健康づくりを積極的に支援している。

① 健康増進の啓発

2013年度（平成25年度）以降、神戸市の健康課題を中心にテーマを定めてリーフレットを作成し、特定健診受診者に提供してきた。2019年度（平成31年度）からは、健診結果をよりよく活かしていただくためのリーフレット「健診結果はいかがでしたか」を健診結果とあわせて提供している。

② 生活習慣病重症化予防事業

・糖尿病性腎症重症化予防事業

医療レセプトより把握した糖尿病の治療中断者や、特定健診の結果から糖尿病の可能性があるものの医療機関未受診に対し、訪問・電話・文書により、受診勧奨を中心とした保健指導を実施している。さらに、糖尿病治療中者のうち、特定健診の結果から生活習慣の改善が必要と思われる者に対して、主治医と連携を図りつつ、6か月間の保健指導を実施している。

保健指導実施数	2021年度	2022年度	2023年度
未治療者	76人	122人	192人
治療中断者	89人	77人	85人
治療中者	13人	45人	36人

・慢性腎臓病（CKD）対策

特定健診の結果、CKDリスクと高血圧などが重複した対象者のうち、高度リスク域の医療機関未受診者に、訪問等により受診勧奨を中心とした保健指導を実施している。

	2021年度	2022年度	2023年度
保健指導実施数	130人	86人	155人

・高血圧対策

特定健診の血圧測定値が要受診域に該当する者を対象に、健診後医療機関未受診の場合、訪問等により受診勧奨を中心とした保健指導を実施している。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
保健指導実施数	296人	817人	721人

③ フレイルチェック

心身の活力が低下し介護が必要な状態に移行しやすいフレイルを早期発見し、生活習慣の見直しを促すことを目的としたフレイルチェックを、65歳・70歳を対象に特定健診拠点会場、協力薬局等にて実施した。

実施場所	2021年度	2022年度	2023年度
	実施人数	実施人数	実施人数
市薬剤師会	698人	468人	524人
特定健診拠点会場	1,092人	1,136人	1,063人
合 計	1,790人	1,604人	1,605人

(2023年度は同伴者への実施も含む)

（８）高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施

後期高齢者の健診結果と医療レセプト・介護保険の情報を活用し、後期高齢者に対する生活習慣病の重症化予防と介護予防を一体的に実施。

①個別支援（ハイリスクアプローチ）

後期高齢者健診において、要医療・要指導の判定を受けた者に対して、受診勧奨や、低栄養などフレイルに配慮しながら、糖尿病性腎症等の重症化予防のための保健指導を実施。

【2023 年度実績】

- ・低栄養予防 163 人
- ・重症化予防（糖尿病性腎症） 327 人
- ・重症化予防（その他の生活習慣病等） 843 人

②つどいの場を活用したポピュレーションアプローチ

フレイル予防のための取り組みに加え、地域の健康課題（糖尿病や高血圧、低栄養等）の改善を図るために、健康教育・健康相談を実施し、必要時は個別支援や受診勧奨、介護保険利用等の他の制度との連携を行う。

【2023 年度実績】延べ 1,181 人

第4節 精神保健事業

精神保健福祉法（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律）に基づき、精神保健の向上及び精神障害者の福祉の増進を図っている。

（１）相談

① 各区保健福祉課（支所も含む）による精神保健福祉相談

各区保健福祉課で、電話・文書・面接・訪問により、当事者やその家族から精神疾患の治療や療養生活で利用できる制度などに関する相談を精神科嘱託医による相談日も設けて実施している。

・相談件数（区役所・支所実施分）

	総数				
		社会復帰	老人精神	アルコール	その他
2021年度	18,695	8,603	502	286	9,304
2022年度	11,634	5,747	346	252	5,289
2023年度	12,765	5,418	364	195	6,788

※令和4年度より、関係機関との連携、報告については実績を別途計上している。

・区別相談件数（区役所・支所実施分）

2023年度	実人数		延べ件数					
			総数		社会復帰	老人精神	アルコール	その他
	うち訪問件数	うち訪問件数						
東 灘	1,041	68	1,477	218	1,089	23	45	320
灘	828	68	1,562	149	1,033	17	25	487
中 央	1,280	47	1,679	86	841	20	6	812
兵 庫	334	34	1,037	76	310	11	17	699
北	510	52	1,833	99	249	85	23	1,476
長 田	468	63	1,394	162	935	5	9	445
須 磨	606	89	2,330	221	459	140	57	1,674
垂 水	206	27	441	44	171	21	7	242
西	516	45	1,012	85	331	42	6	633
合計	5,789	493	12,765	1,140	5,418	364	195	6,788

・医師相談件数

	総数
2021年度	148
2022年度	135
2023年度	110

② 継続支援事業

措置入院者等の重篤な精神障害者が、必要な医療や支援がとぎれることなく、地域での安定した生活を確保することを目的として、継続支援体制を構築し、「神戸市精神障害者継続支援事業マニュアル」に基づき、各区に「継続支援チーム」を設置し、支援している。措置入院者だけでなく、市長同意での医療保護入院者やその他継続支援が必要であると認める者についても支援対象としている。

・ 支援対象者

	2021年度	2022年度	2023年度	2023年度 (R6.3月末 時点)
措置	54	69	91	37
市長同意	33	61	57	22
その他	8	11	6	4
計	95	141	154	63

・ チーム支援回数（回）

	2021年度	2022年度	2023年度
本人	-	836	1,271
家族	-	310	506
関係機関等	-	2,326	2,931
計	1,969	3,472	4,708

・ 継続支援チームケース検討会議（回）

	2021年度	2022年度	2023年度
ケース検討会	429	647	792

③ 精神保健福祉センターによる精神保健福祉相談

精神保健福祉センターでは、センター内の精神保健福祉相談員による相談、および「神戸市こころといのちの電話相談（令和4年度より委託）」、思春期専門相談、依存症専門医師相談（2021年度（令和3年度）まではアルコール・薬物関連医療相談）、を実施している。また、兵庫県精神保健福祉センター内に兵庫県・神戸市共同で「ひょうご・こうべ依存症対策センター」を設置し、依存症に関する相談を実施している。

・相談件数

	2021年度	2022年度	2023年度
精神保健福祉センター相談	714	1,405	1,771
【再掲】思春期専門医師相談	20	27	38
【再掲】依存症専門医師相談 （令和3年度まではアルコール・薬物関連医療相談）	4	57	59
神戸市こころといのちの電話相談	5,286	8,938	12,311
ひょうご・こうべ依存症対策センター	137	146	131
合 計	6,137	10,489	14,213

(2) 普及啓発

精神保健福祉センターでは、地域住民のこころの健康の保持増進、精神障害者への偏見・差別の解消を目的として、講演会や研修会、地域交流会等の開催、各種広報媒体の作成・活用などによる正しい知識の普及を行っている。また、市民酒害セミナーや依存症専門医療機関へ研修を開催している。

・講演会・セミナーなど

事業名	日程	内容・テーマなど	参加者
精神保健福祉 ボランティア講座	2023年9月5日 2023年9月14日 2023年9月20日 2023年10月17日	「こころの病とは」「ボランティアの魅力」他 講師：伊藤 篤 氏（神戸市精神保健福祉センター嘱託医） 社会福祉法人大阪ボランティア協会 青山 織衣 他	延べ 187人
精神障害者の 家族向けセミナー	2024年1月23日 2024年2月6日 2024年2月21日	「病気の基礎知識」他 講師：精神科医 伊藤 篤 氏、 兵庫県精神障害者相談員 他	延べ 65人
ギャンブル 依存症学習会 （兵庫県精神保健福祉セ ンターとの共催）	2023年10月20日 （神戸市主催）	「依存症」 アルコール、薬物、ギャンブル、ネット依存について 講師：垂水病院 医師 長妻 渉 氏	延べ 75人
	2023年9月28日 2023年10月21日 （兵庫県主催）	専門医からギャンブル依存症の医学的知識を学ぶ 他 講師：神戸大学医学部附属病院 精神神経科助教 山木 愛久 氏	延べ 53人
神戸市民酒害セミナー （講演会）	2023年11月12日	「『依存症から自分や家族を守るためにできること』～依存症との向き合い方、自助グループとの付き合い方～ 講師：垂水病院 上田 知香 氏	198人
依存症に関するシン ポジウム、研修会 （依存症専門医療機 関および依存症治療 拠点機関）	令和5年10月22日	「アルコール依存症の基礎」 講師：ひょうごこころの医療センター 医師 米村 正嗣 氏	67人
	2023年12月17日	「デジタルネイティブ時代の子供たち ～ネットゲーム依存外来から見えたこと～」他 講師：神戸大学医学部附属病院 精神科神経科 南 陽香 氏 他	77人
	2024年1月28日	「ギャンブル問題支援の心がけ」他 講師：岡山県精神科医療センター 医師 宋 龍平 氏	51人
	2024年2月11日	「CRAFTを学ぼう ～もう底つきを待たないでいい、アルコール依存症の家族支援」 講師：藍里病院 副院長 医師 吉田 精次 氏	35人
	2024年2月23日	「依存症を抱える人を理解してかわっていくにあたって」 講師：ハートランドしぎさん 医師 長 徹二 氏	58人
	2024年3月20日	「回復について」 講師：ギャンブル依存当事者	21人

(3) 医療

① 自立支援医療（精神通院医療）

障害者自立支援法に基づき、精神疾患による通院治療を原則1割の自己負担とする制度で、世帯の所得に応じた月額負担上限額を本市独自の負担軽減策として引き下げている。

・ 自立支援医療（精神通院医療）受給者数

	年度末受給者数
2021年度	34,540
2022年度	35,602
2023年度	39,546

② 医療保護入院の入院届・定期病状報告の審査（精神医療審査会の業務の一部）

・ 医療保護入院の入院届・定期病状報告

	医療保護入院届	定期病状報告
2021年度	2,554	606
2022年度	2,611	597
2023年度	2,829	560

④ 措置入院に係る事務

医療及び保護のために入院させなければ自傷他害のおそれがある精神障害者を、神戸市長の権限により措置入院の要否判断をする診察を行い、入院措置及び措置解除に関する手続きを行っている。

・ 措置入院にかかる事務

		2021年度	(措置該当者)	2022年度	(措置該当者)	2023年度	(措置該当者)
通報等	第22条（一般人からの申請）	2	-	1	-	0	-
	第23条（警察官通報）	246	(33)	331	(39)	380	(47)
	第24条（検察官通報）	25	(8)	18	(10)	20	(12)
	第25条（保護観察所の長の通報）	-	-	0	-	-	-
	第26条（矯正施設長の通報）	113	-	104	(1)	110	-
	第26条の2（精神科病院管理者の届出）	-	-	0	-	0	-
	第27条第2項（精神障害のために自傷他害のお	2	(2)	2	-	4	(3)
合 計		388	(43)	456	(50)	514	(62)

※精神保健及び精神障害者福祉に関する法律は、平成26年4月改正の基準で記載。

(4) 福祉および社会復帰支援

① 精神障害者保健福祉手帳

精神保健福祉法に基づき、精神障害者保健福祉手帳を交付し、この手帳により福祉乗車証の交付・公立施設の入場料減免などの支援施策を実施している。

・精神障害者保健福祉手帳

	2021年度		2022年度		2023年度	
	交付数	年度末累計	交付数	年度末累計	交付数	年度末累計
1級	278	1,320	699	1,324	699	1,286
2級	2,067	11,482	6,159	12,081	6,159	12,400
3級	1,697	6,583	3,752	7,269	3,752	7,628
合計	4,042	19,385	10,610	20,674	10,610	21,314
不承認	78		80		68	

② 精神障害者社会適応訓練事業

回復途上にある精神障害者が一定期間協力事業所へ通い、就労の場で訓練を受けることにより、日常生活への適応、職業技能の習得など社会的自立を動機付け、社会参加の促進を図っている。

・精神障害者社会適応訓練事業

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
職親事業所数	48 ヲ所	48 ヲ所	48 ヲ所
訓練生のいる事業所数	1 ヲ所	1 ヲ所	1 ヲ所
訓練生延人数	1 人	1 人	1 人

(5) 自殺対策

神戸市精神保健福祉センター内に設置されている「神戸市自殺対策推進センター」が中心となり、「第3期神戸いのち大切プラン」に基づき、普及啓発の重点的实施、相談機関の充実と地域連携の強化、こころの健康づくりの推進、遺族支援対策等に取り組んでいる。

① 推進体制

「第3期神戸いのち大切プラン」(神戸市自殺対策基本計画 2023 年度～2027 年度)を推進していくために、関係機関や庁内関係部署との連携を図りながら取り組みを進めている。

ア 神戸市自殺対策推進連絡会：(令和5年度実績：1回)

- ・全庁横断的に自殺対策に取り組むため、情報・推進状況の共有や評価・検証を実施

イ 神戸市自殺対策実務者会：(令和5年度実績：2回)

- ・自殺対策に取り組むために、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的とする会議

ウ 神戸市自殺対策推進センター

- ・自殺に関する専門的相談、自殺対策に関する人材養成、関係機関の連携調整など自殺対策を総合的に実施している。

② 普及啓発の重点実施

自殺予防週間、自殺対策強化月間を中心に自殺予防に対する市民への意識啓発、自殺の危機にある人への気づきや見守りなどを認識できるよう普及啓発を進める。

また、自殺者数が増加傾向にある若年者対策として、自殺予防教育に取り組んでいる。

ア Web サービス・冊子版「ストレスマウンテン」の啓発

対象者のライフイベントをチェックすることで、ストレス度合の可視化とストレスに応じたストレス対処法を啓発

	2021年度	2022年度	2023年度
検索性数	93,576	92,204	106,777

イ 神戸自殺対策総合フォーラム

自殺対策強化月間(3月)における自殺対策講演会を医師会・県弁護士会・県司法書士会と協力して実施している。

	2021年度	2022年度	2023年度
参加者	58	75	247

ウ こどもの自殺予防教育事業

教育委員会との連携により、職員研修及び中学1・2年生を対象とした授業「いのちとこころの学習」を実施している。

参加者	2021年度	2022年度	2023年度
職員研修	232	267	215
授業	836	1,146	795
教育委員会 職員 全体研修	120	70	325

エ うつ予防セミナー

うつ病を正しく知るとともに、ものごとの受け取り方や考え方を見つめなおすことでストレスを軽減し、うつ病を予防するという目的で実施している。

	2021年度	2022年度	2023年度
参加者	中止	63	120

③相談機関の充実と地域連携の強化

労働問題や生活問題を要因とする自殺を未然に防止するため、相談の機会を設けている。また、自殺の危険性が高い人を早く的確に必要な支援につなぐことができるよう医療機関や相談機関等の相談対応者の対応力の向上や各機関の連携強化を図っている。加えて、電話相談事業に携わる電話相談員の養成事業に取り組む民間団体を対象に、その活動事業費の一部を助成している。

ア くらしとこころの総合相談会

ハローワークを会場として弁護士による法律相談と保健師等によるこころの相談を実施することで、勤労世代を中心とした様々な悩みを抱える人の解決の一助とする。

	2021年度	2022年度	2023年度
延参加者	189	174	127

イ ゲートキーパー養成研修

自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応ができる『ゲートキーパー』の役割を担う人材を育成している。

	2021年度	2022年度	2023年度
市民向け	YouTubeによる 動画配信	18	91
支援者向け		21	123

※「ゲートキーパー」とは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ見守る人（命の門番）

ウ 電話相談員養成を行う民間団体等に対する活動支援（1団体）

④こころの健康づくりの推進

自殺を図った人の直前の心の健康状態は、うつ病の割合が高いことから、うつ状態にある人の早期発見、早期治療につなげる取組みと医療連携の強化を図っている。

また、うつ病等で自殺念慮のある人や自殺未遂者の自殺企図を防ぐ対策を進めている。

ア かかりつけ医等を対象としたうつ病対応力向上研修

適切なうつ病診療の知識・技術の習得及び、専門医との連携を図るために研修会を実施している。

	2021年度	2022年度	2023年度
参加者	33	11	31

イ 自殺未遂者対策

自殺未遂者の再度の自殺企図を防止するため、自殺未遂者や自殺念慮者の相談対応及び問題解決につながるよう関係機関と連携し、支援者向けの研修会を実施している。

	2021年度	2022年度	2023年度
参加者	中止	58	194

⑤遺族支援対策

自死遺族どうして集まり、体験や思いを語ることのできる「分かち合いの会」の実施や、自死遺族又は自殺を考えている人からの相談事業の実施等に取り組む民間団体を対象に、その活動事業費の一部を助成した。

- ・自死遺族の支援活動を行う民間団体等に対する活動支援（2団体）

第5節 難病対策事業

原因が不明で治療法が確立していない難病は、治療が非常に困難であり医療費も高額なため、これまで「特定疾患治療研究事業」「小児慢性特定疾患治療研究事業」として医療費助成が行われてきたが、都道府県の超過負担の解消を図るとともに、難病に係る公平かつ安定的な医療費助成の制度を確立するため「難病の患者に対する医療費等に関する法律」が2014年5月23日に成立した。法律の施行に伴い2015年1月から指定難病医療費助成制度が新たに開始され、医療費助成の対象疾病が56から110に拡大された。以降も対象疾病は拡大されており、2024年4月1日から、341疾病が対象となっている。

また、小児慢性特定疾病は2015年1月1日に制度改正が行われ、医療費助成の対象疾病は14疾患群704疾病に拡大された。さらに、2016年10月1日から神戸市単独で自己負担額の追加助成を行っている。2017年4月1日からは対象疾病がさらに722疾病まで拡大され、2018年4月1日からは756疾病まで、2019年7月1日からは762疾病まで、2021年11月1日からは788疾病まで拡大された。

（１）指定難病医療費助成・小児慢性特定疾病医療費助成

所得と治療状況に応じた段階的な一部自己負担制度となっている。

・難病対策の体系

	医療費助成		
	小児慢性特定疾病	指定難病	先天性血液凝固因子障害等治療研究事業
～18歳未満	14疾患群（入院・通院とも）疾病により審査基準が設けられている。	国の指定する難病 341疾病 (2024. 4. 1時点)	血液凝固因子製剤の投与に起因するHIV感染者（年齢制限なし）
18～20歳未満	18歳未満からの継続の場合		
20歳以上			先天性血液凝固因子欠乏症

（２）在宅生活の支援

難病患者や家族への電話相談、面接相談、訪問相談等総合的な支援を実施している。また、在宅の小児慢性特定疾病（患）児への日常生活用具の給付を実施している。その他、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業を公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金へ委託し、生活上の相談や学習・就労支援や通院・通学支援を行っている。なお、特定疾患等在宅療養患者生活支援事業は、2013年3月31日をもって終了し、2013年4月1日施行の「障害者総合支援法」において、難病患者が障害福祉サービスの対象となっている。

(3) 難病団体への助成事業

特定非営利活動法人神戸市難病団体連絡協議会への助成を通じて、難病患者や家族に対する各種支援を行っている。

	相談件数（件）
電話等による保健福祉相談事業	437

	参加者（人）	実施回数（回）
難病医療相談会	631	2
専門医による疾病別個別医療相談（疾病別個別医療相談）	185	3
戸外食事会と遊びリレーション	28	1
講演会（ひょうご安全の日推進事業）	51	1
新春のつどい	44	1
介護研修事業	44	1
難病患者と介護者のつどい	42	1

(4) 難病相談支援センターへの委託事業

2019年10月1日に開設した難病相談支援センターへの委託により、難病患者や家族に対する各種支援を行っている。

相談人数		2019年度 【10月～3月】	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
相談者	患者	127 (95)	361 (217)	435 (273)	423 (282)	457 (322)
	家族	73 (57)	127 (107)	212 (151)	230 (170)	251 (210)
	その他	50 (42)	142 (113)	113 (104)	128 (122)	115 (107)
相談者 居住地	市内	197 (152)	446 (314)	516 (367)	598 (434)	625 (486)
	市外	52 (41)	183 (122)	242 (160)	183 (140)	187 (144)
	不明	1 (1)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	11 (9)

() 内は新規人数

(5) 医療給付

・ 特定医療費（指定難病）受給者数

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
11,702	12,357	13,391	13,300	13,794	14,310

・ 小児慢性特定疾病給付件数

2021年度	2022年度	2023年度	悪新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患
1,168	1,228	1,218	170	74	61	148	206	42	92	23	31	13	139	133	49	9	21	7

・小児慢性特定疾病日常生活用具の給付件数

便器	
特殊マット	3
特殊便器	
特殊寝台	
歩行支援用具	
入浴補助用具	2
特殊尿器	
体位変換器	
車いす	1
頭部保護帽	
電気式たん吸引器	7
クールベスト	1
紫外線カットクリーム	
ネブライザー	3
パルスオキシメーター	3
ストーマ装具（蓄便袋）	8
ストーマ装具（蓄尿袋）	
人工鼻	8
	36

第6節 感染症・結核対策事業

近年の国際交流の活発化により、エボラ出血熱や新型インフルエンザ等の新興感染症が短時間に国内各地に伝播する恐れがある。2020年2月1日には新型コロナウイルス感染症が指定感染症として指定されていたが、2023年5月8日以降は定点把握の五類感染症に位置付けが変更となった。国内においても原因不明の感染症の発生やインフルエンザ、感染性胃腸炎等の流行・集団発生など感染症から市民の生命を守るため感染症の発生、拡大に備え、感染症の発生状況や動向を的確に把握し、まん延を予防するための対策を進めている。

結核対策については、2022年に罹患率(1年間に新規に発生した結核患者の人口10万人に対する割合)が10以下となり低蔓延となったが、これはコロナ禍の影響で外国出生者が少なかったこと、受診控え、検査控えによる発見率の低下による一時的な現象と考えられ、2023年には罹患率11.3と再び上昇した。今後も罹患率の低下をめざして、これまでも実施してきた高齢者を中心とした結核対策に加え、急増する外国出生者への対応を推進していく。

(1) 感染症対策

① 感染症発生動向調査

感染症法にもとづき、市内の感染症の発生状況、流行状況を把握・分析し、その結果を速やかに、市民や医療機関地域の施設等に公表、情報発信している。感染症に対する理解や適切な予防措置を促すことにより、感染症の発生とまん延防止をはかっている。

・ 2023年(2023年1月1日～2023年12月31日)発生状況

全数把握感染症	一類感染症	発生報告なし
	二類感染症	結核のみ(詳細は結核の項)
	三類感染症	59例
	四類感染症	39例
	五類感染症	314例
	指定感染症 (新型コロナウイルス感染症※)	52,874例 ※2023年5月7日まで
定点把握感染症	45,993例	

②感染症発生時の対策

・積極的疫学調査と感染拡大防止対策

感染症の患者が発生した場合、患者等へ感染源や感染経路、発生の状況等について積極的疫学調査を行い、消毒や手洗いなどの感染拡大防止のための保健指導を行なう。また、必要に応じて患者へ感染症指定医療機関（神戸市立医療センター中央市民病院等）への入院勧告を行なう。

感染の可能性のある接触者等へ健康診断の勧告や健康観察を行なっている。

・積極的疫学調査数について（令和5年1月1日～令和5年12月31日）

一類感染症及び二類感染症（結核を除く）	0 件
三類感染症	46 件
四類感染症	13 件
五類感染症	2 件
指定感染症（新型コロナウイルス感染症）	12,382 件（市外からの調査依頼含む）

・入院勧告件数について

一類感染症及び二類感染症（結核を除く）において、入院勧告を行った事例はなかった。
新型コロナウイルス感染症については、687 件入院勧告を実施した（市外発生届受理数も含む）。

・全数把握対象感染症発生状況

類型	感染症名	2021年	2022年	2023年
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0
	痘そう	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0
	ペスト	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0
二類感染症	急性灰白髄炎	0	0	0
	結核については、別ページ参照			
	ジフテリア	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）	0	0	0
	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る）	0	0	0
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0	
三類感染症	コレラ	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	25	33	58
	腸チフス	0	0	1
	パラチフス	0	0	0
	小計	25	33	59
四類感染症	E型肝炎	1	3	3
	A型肝炎	0	1	1
	ジカウイルス感染症	0	0	1
	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0	1
	つつが虫病	0	2	0
	デング熱	0	2	1
	日本紅斑熱	9	7	6
	マラリア	1	1	0
	レジオネラ症	23	36	26
	小計	34	52	39
五類全数把握感染症	アメーバ赤痢	8	5	9
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	2	1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	15	17	14
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	13	9	17
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9	3	15
	後天性免疫不全症候群	17	14	9
	ジアルジア症	0	2	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	5	19
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	13	18	31
	水痘（入院例）	3	3	3
	梅毒	109	139	180
	播種性クリプトコックス症	1	2	1
	破傷風	0	0	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	1
	百日咳	2	1	9
	麻しん	0	1	1
	小計	197	221	314
	新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ	0	0
再興型インフルエンザ		0	0	0
指定感染症	新型コロナウイルス感染症（2023/5/7まで）	24,132	373,781	52,874
合計（結核を除く全数把握感染症）		24,388	374,087	53,286

・ 定点把握対象感染症発生状況 --- (五類感染症)

インフルエンザ/COVID-19定点 (定点数48: 内科17+小児科31)

	2021年	2022年	2023年	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)	7	209	20,144	1,930	1,088	528	1,750	1,589	4,149	4,066	1,084	3,960
新型コロナウイルス (COVID-19) ※ 第19週 (5/8-5/14) 以降	...	...	7,617	451	642	315	592	468	1,595	1,581	448	1,525

第19週 (5/8-5/14) 以降

小児科定点 (定点数: 31)

	2021年	2022年	2023年	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
R S ウイルス感染症	2,211	986	1,131	130	13	12	9	87	294	324	157	105
咽頭結膜熱	221	148	1,677	249	81	41	46	82	381	276	33	488
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	564	568	2,715	242	152	34	117	204	478	916	240	332
感染性胃腸炎	6,219	6,392	8,191	402	257	461	522	1,185	1,515	2,651	484	714
水痘	137	95	143	14	16	9	12	14	24	23	12	19
手足口病	1,153	774	842	69	10	43	57	98	146	216	53	150
伝染性紅斑	29	17	16	1	—	2	2	4	3	—	1	3
突発性発疹	436	330	318	33	11	18	20	22	71	76	21	46
ヘルパンギーナ	398	104	1,570	132	41	77	73	113	291	376	147	320
流行性耳下腺炎	68	45	92	16	7	3	9	5	7	35	2	8
合計	11,436	9,459	16,695	1,288	588	700	867	1,814	3,210	4,893	1,150	2,185

眼科定点 (定点数: 10)

	2021年	2022年	2023年	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
急性出血性結膜炎	1	2	7	1	—	—	1	—	2	—	—	3
流行性角結膜炎	60	61	216	28	2	14	19	5	67	18	17	46
合計	61	63	223	29	2	14	20	5	69	18	17	49

基幹定点 (定点数: 3)

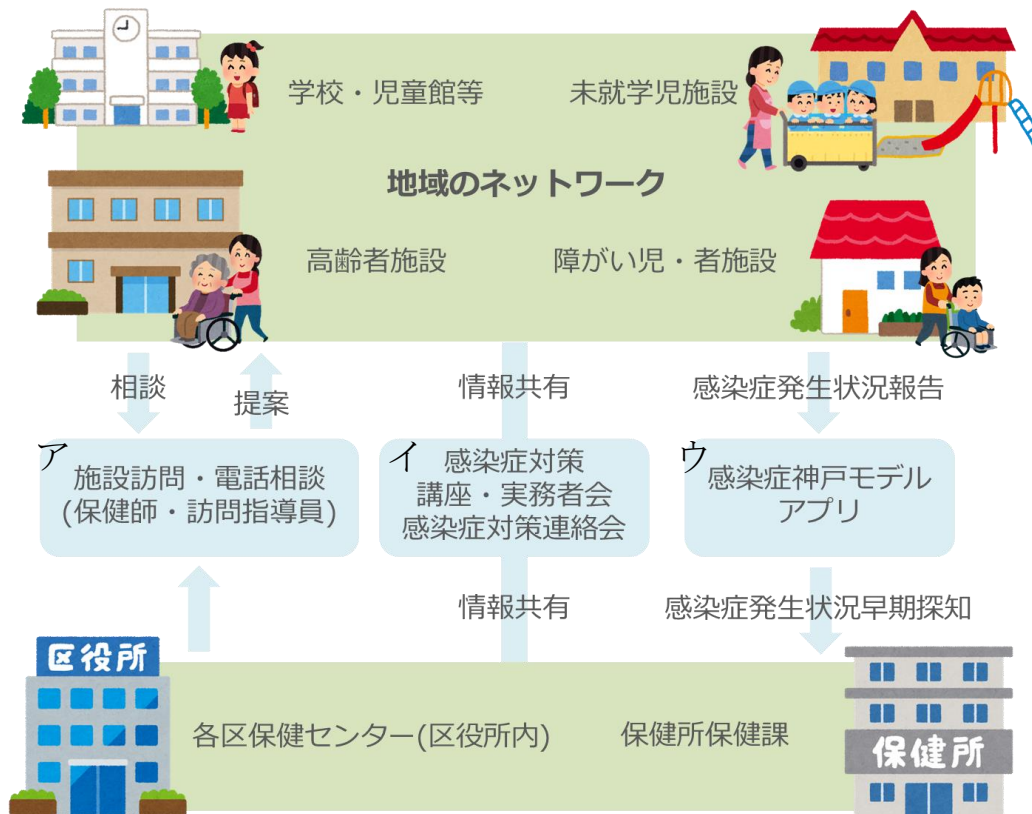
	2021年	2022年	2023年
細菌性髄膜炎 (真菌性を含む)	—	1	1
無菌性髄膜炎	1	3	10
マイコプラズマ肺炎	—	—	1
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	—	—	—
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	—	1	2
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	131	137	113
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	3	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	3	6	2
合計	136	151	130

性感染症 (STD) 定点 (定点数: 12)

	2021年	2022年	2023年
性器クラミジア感染症	305	363	652
性器ヘルペスウイルス感染症	100	77	167
尖圭コンジローマ	56	56	121
淋菌感染症	90	120	244
合計	551	616	1,184

③神戸モデル～感染症早期探知地域連携システム～

保健所・保健センター、学校・児童館、保育施設、高齢者施設、障がい者施設等が、顔の見える関係を築き、感染症の知識や対応策、地域の感染症発生情報等を共有することにより、地域での感染症の早期探知、適切な対応による感染拡大の防止を図っている。



令和5年度 地域の社会福祉施設数（居宅サービスは除く）

未就学児関係施設	高齢者関係施設	障がい児・者関係施設	合計
1036	1395	795	3226

※所管課が作成し神戸市HP上で公開しているリストより対象となる施設を算出。

（サービス種別が異なる場合でも、同一住所の場合一つの施設として計算）

ア 施設への訪問

保健センター保健師や感染症訪問指導員（2015年（平成27年）9月活動開始：保健師又は看護師の資格を持つ非常勤職員）が、平常時から保育施設や高齢者施設などの地域施設を巡回し、感染症対策の実態把握や施設の状況に応じた助言指導を行っている。

イ 感染症対策講座・実務者会等

地域の社会福祉施設等施設職員を対象とし、感染症の基礎知識を学ぶ感染症対策基礎講座をオンラインにて実施した。参加できなかった施設職員を対象にアーカイブ配信を行った。

各区保健センターで、社会福祉施設等施設職員を対象とし、感染症実務者連絡会を開催した。感染症対応の講義や、感染症対応の実技訓練（手洗い、個人防護具の着脱、吐物の処理など）、施設職員の情報交換等を行った。

ウ 早期探知「感染症・食中毒疑い発生状況報告」

施設等で感染症等を疑う症状のある人が1週間以内に2名以上発生した場合、早期に保健センターへ報告をもらうことにより、感染症の拡大防止に向け、施設への助言や地域への注意喚起など、対策を講じている。ただし、新型コロナウイルス感染症については、施設内で1名発生が明らかになった時点で報告を依頼した。

令和3年10月より、感染所神戸モデルアプリをリリースした。施設職員が施設の情報をオンラインで登録し、感染症が発生した際は従来のFAXではなく、オンラインで報告できる体制を構築した。各保健センターへの報告と所管課への報告が一元化され、報告数が増加した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症4,657件、インフルエンザ1,315件、アデノウイルス189件、溶連菌132件、その他感染症927件、合計7,220件の報告があった。

● 感染症神戸モデルの実績

	R03年度	R04年度	R05年度
巡回施設数	547施設	477施設	1,077施設(※1)
早期探知件数(※2)	4,029件	11,333件	7,220件
アプリ登録数(※3)	2,155施設	3,420施設	3,675施設
感染症対策基礎講座	-	-	オンラインで開催。 267施設が参加。
感染症実務者研修会	8回	11回	10回
感染症対策動画 (再生回数)	約1000回。	約5,000回。	約16,000回

※1 障害者施設 229 件、高齢者施設 620 件、こども施設 210 件、学校関係施設 18 件

※2 令和3年10月まではFAXによる報告。それ以降はkintoneを活用した報告

※3 令和3年まではメーリングリストに登録している施設数

(2) 予防接種

予防接種には、予防接種法に基づく「定期予防接種」、神戸市が独自に健康被害の救済を行う「行政措置予防接種」、いずれにも該当しない「任意予防接種」がある。

① 定期予防接種

・2023年度 こどもの定期予防接種の対象年齢と接種間隔

年齢	2 か 月	3 か 月	4 か 月	5 か 月	6 か 月	7 か 月	8 か 月	9 か 月	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳	受ける回数	望ましい時期
定期 接種	初回 追加																									(生後2～6か月で開始した場合)	
	Hib(ヒブ)																									初回3回 追加1回	生後2～6か月で開始 初回接種終了後 7～13か月の間隔
	小児肺炎球菌																									初回3回 追加1回	生後2～6か月で開始 生後12～14か月
	B型肝炎																									3回	生後3～8か月
	BCG																									1回	生後3～7か月
	四種混合1期 (DPT-IPV)																									1期初回 3回 1期追加 1回	生後2～11か月 初回接種終了後 12～18か月の間隔
	二種混合2期 (DT)																									2期 1回	11歳
	麻しん・風しん (MR)																									1期 1回 2期 1回	対象の時期がきたら できるだけ早く
	水痘 (水ぼうそう)																									初回 追加	生後12～14か月 初回終了後 6～12か月の間隔
	日本脳炎																									1期初回 2回 1期追加 1回 2期 1回	3歳 初回終了後概ね1年後 9歳
	ヒトパピローマ ウイルス (HPV)																									3回	中学1年生の間

・2023年度 高齢者の定期予防接種の対象年齢と接種間隔

年齢																																									受ける回数	望ましい時期
60616263646566676869707172737475767778798081828384858687888990919293949596979899100																																										
定期 接種	高齢者肺炎球菌																																								1回	
任意 接種	インフルエンザ																																								年1回	【実施期間】 毎年10月1日～ 翌年1月末

法律で定められている接種対象期間



「心臓、腎臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害で身体障害者手帳1級の人または、同程度以上の人



・定期予防接種の状況（乳幼児・児童・生徒）

区 別	ロタウイルス（ロタリックス）		ロタウイルス（ロテック）			H i b				小児肺炎球菌				B型肝炎		
	1回目	2回目	1回目	2回目	3回目	初回 1回目	初回 2回目	初回 3回目	追加 接種	初回 1回目	初回 2回目	初回 3回目	追加 接種	1回目	2回目	3回目
2021 年 度	5,322	5,161	4,022	3,975	3,957	9,468	9,322	9,271	9,395	9,460	9,324	9,266	9,358	9,431	9,286	9,120
2022 年 度	5,156	5,177	3,611	3,656	3,625	8,921	9,004	8,984	8,950	8,928	9,003	8,988	8,976	8,886	8,971	8,874
2023 年 度	4,254	4,312	4,167	4,111	4,008	8,591	8,605	8,578	8,489	8,590	8,603	8,589	8,503	8,548	8,581	8,347
東 灘	730	724	639	614	608	1,390	1,367	1,385	1,346	1,391	1,366	1,384	1,346	1,385	1,364	1,370
灘	284	301	523	519	510	824	832	823	811	823	831	822	813	823	830	777
中 央	421	435	489	506	492	930	953	941	890	926	952	943	894	918	951	916
兵 庫	301	295	347	329	308	660	642	624	555	663	639	624	558	649	635	565
北	721	726	320	311	304	1,059	1,066	1,078	1,146	1,059	1,069	1,080	1,146	1,059	1,066	1,047
長 田	261	275	237	230	213	515	522	494	462	516	522	497	459	508	517	470
須 磨	489	484	414	419	421	921	915	923	885	923	915	926	884	918	913	917
垂 水	628	659	522	505	485	1,171	1,186	1,172	1,211	1,170	1,188	1,176	1,201	1,169	1,186	1,150
西	419	413	676	678	667	1,121	1,122	1,138	1,183	1,119	1,121	1,137	1,202	1,119	1,119	1,135

区 別	ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ (DPT-IPV)				ジフテリア・百日せき・破傷風 (DPT)				急性灰白髄炎(不活化ポリオ)				DT	
	第1期				第1期				第1期				第2期	
	初回 第1回	初回 第2回	初回 第3回	追加 接種	初回 第1回	初回 第2回	初回 第3回	追加 接種	初回 第1回	初回 第2回	初回 第3回	追加 接種		
2021 年 度	9,361	9,364	9,418	9,752	—	—	1	1	1	—	—	—	5	9,957
2022 年 度	9,040	9,082	9,046	8,618	1	1	2	3	—	—	—	—	3	9,939
2023 年 度	9,300	9,350	9,458	8,711	1	1	1	—	—	—	—	—	4	9,902
東 灘	1,485	1,497	1,536	1,447	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,550
灘	890	905	913	837	—	—	—	—	—	—	—	—	—	959
中 央	1,019	1,031	1,026	881	—	—	—	—	—	—	—	—	1	638
兵 庫	700	689	685	553	—	—	—	—	—	—	—	—	—	490
北	1,150	1,173	1,189	1,188	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,488
長 田	566	555	550	453	—	—	—	—	—	—	—	—	—	421
須 磨	996	991	1,004	920	—	—	—	—	—	—	—	—	—	962
垂 水	1,274	1,291	1,311	1,256	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,667
西	1,220	1,218	1,244	1,176	1	1	1	—	—	—	—	—	1	1,727

区 別	麻しん・風しん						水痘		日本脳炎				ヒトパピローマウイルス (HPV)		
	第1期			第2期			初回	追加	第1期			第2期	1回目	2回目	3回目
	麻しん風 しん混合	麻しん 単独	風しん 単独	麻しん風 しん混合	麻しん 単独	風しん 単独			初回 第1回	初回 第2回	追加接種				
2021 年 度	9,277	—	—	11,090	—	—	9,289	10,212	8,318	8,380	6,457	5,481	3,904	3,434	2,523
2022 年 度	8,996	—	—	10,766	—	—	9,020	8,011	10,837	10,381	13,069	15,061	7,562	6,768	5,146
2023 年 度	8,508	—	—	10,397	—	—	8,614	8,154	10,094	9,839	10,214	12,983	8,557	6,851	5,934
東 灘	1,345	—	—	1,624	—	—	1,366	1,312	1,932	1,894	1,548	2,105	1,410	1,141	1,003
灘	822	—	—	1,057	—	—	841	808	1,094	1,070	1,036	1,229	856	659	590
中 央	879	—	—	806	—	—	879	809	836	816	800	892	710	595	489
兵 庫	550	—	—	616	—	—	557	509	560	532	598	675	445	380	334
北	1,146	—	—	1,407	—	—	1,186	1,102	1,329	1,315	1,459	1,930	1,212	943	847
長 田	460	—	—	519	—	—	462	427	470	448	489	530	338	255	245
須 磨	913	—	—	1,088	—	—	909	868	1,107	1,067	1,065	1,297	818	659	542
垂 水	1,203	—	—	1,713	—	—	1,218	1,186	1,374	1,351	1,678	2,112	1,199	956	786
西	1,190	—	—	1,567	—	—	1,196	1,133	1,392	1,346	1,541	2,213	1,569	1,263	1,098

注1)「ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ第1期」および、「ジフテリア・百日せき・破傷風第1期」は百日せき罹患患者へのDT 接種を含む。

注2)「日本脳炎」は特例対象を含む。

注3) ヒトパピローマウイルス(HPV)は2013年6月より実施していた積極的勧奨の見合わせが終了することとなり、2022年4月より積極的勧奨を再開した。2022年度の実績には定期接種として接種した件数及び2021年度までの積極的勧奨を見合わせていた期間に定期接種の機会を逃した世代(1997～2006年度生まれの女子)が接種した件数(キャッチアップ接種の実施件数)の合計を計上している。

・定期予防接種の状況（高齢者）

区 別	高齢者インフルエンザ			高齢者肺炎球菌		
	自己負担額 1,500円	自己負担額 無料	合 計	自己負担額 4,000円	自己負担額 無料	合 計
2021年度	173,237	59,781	233,018	8,994	4,234	13,228
2022年度	177,363	63,219	240,582	8,481	4,543	13,024
2023年度	165,438	61,263	226,701	10,374	5,441	15,815

・定期予防接種の状況（要注意児 ※神戸市中央市民病院小児科）

区 別	ロタウイルス	H i b	小児肺炎球菌	B型肺炎	BCG	ジフテリア百日せき破傷風ポリオ	ジフテリア百日せき破傷風	不活化ポリオ	ジフテリア破傷風	麻しん風しん混合	麻しん	風しん	水痘	日本脳炎	ヒトパピローマウイルス (HPV)
2021年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2022年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2023年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※神戸市に住民登録を有する乳幼児及び児童・生徒で定期予防接種の予診の結果、接種要注意と判定され、高度・専門的な接種判断が求められる人を対象とする。

・長期療養等による定期予防接種特例実施

区 別	H i b	小児肺炎球菌	B型肺炎	BCG	ジフテリア百日せき破傷風ポリオ	ジフテリア百日せき破傷風	不活化ポリオ	ジフテリア破傷風	麻しん風しん混合	麻しん	風しん	水痘	日本脳炎	ヒトパピローマウイルス (HPV)	高齢者肺炎球菌
2021年度	3	—	7	5	—	1	1	1	13	—	—	2	6	3	—
2022年度	—	—	5	7	3	—	1	—	6	—	—	1	2	—	1
2023年度	—	—	1	5	—	—	—	—	5	—	—	1	—	—	—

※神戸市に住民登録を有する乳幼児及び児童・生徒で、長期にわたる療養を必要とする病気にかかっていたことなど特別の事情のため、対象期間内に定期予防接種を受けることができなかった人について神戸市が認めた場合、定期予防接種の対象とする。

② 行政措置予防接種について

B型肝炎、ロタウイルス、破傷風、三種混合、BCG、日本脳炎、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、おたふくかぜ、水痘、小児肺炎球菌、ヒトパピローマウイルス (HPV)、高齢者肺炎球菌、インフルエンザがある。

③ 行政措置予防接種および任意予防接種への助成

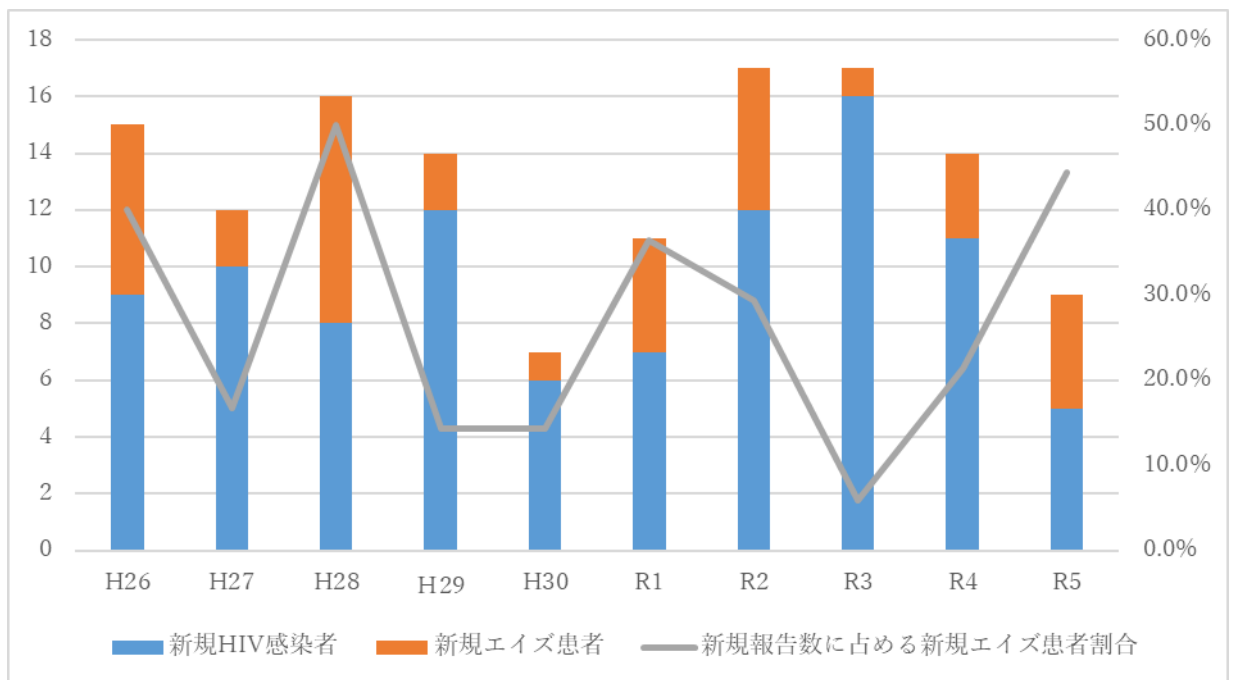
- ア 1歳以上13歳未満を対象に季節性インフルエンザの1回目の接種費用の一部助成を実施した。また、2020年度から多子世帯のみ2回目の接種費用の一部助成を開始した。
- イ 風しん抗体が十分でない妊娠を希望する15歳以上43歳未満の女性、およびその同居者のうち風しん抗体が十分でない者に、風しん予防接種の費用の一部を助成した。
- ウ 2019年4月から2020年9月まで、2019年4月以降の出生児を対象にロタウイルス・おたふくかぜの接種費用の一部助成を実施した。また、2020年10月からのロタウイルスの定期接種化に伴い、1歳～2歳児を対象におたふくかぜの接種費用の一部助成を開始した。

(3) エイズ対策

① HIV・エイズ発生の状況

2023 年度（令和 5 年度）に神戸市で報告された HIV 感染者は 9 人、エイズ患者は 4 人であった。エイズを発症してから HIV 感染に気付く人もあり、検査の普及による早期発見が必要急務となっている。

図 1. HIV 感染者とエイズ患者の発生状況と、新規エイズ患者の割合



② 教育・啓発関連事業

(ア) 若年者への教育

性感染症に対する正しい知識をつけてもらうため、リーフレットを作成しホームページ等で公開するとともに、市内の全高等学校 69 校に送付（約 7,000 部）、市内の大学 23 校、専門学校 11 校へメールにてデータを送付。保健体育の授業や夏休み前に啓発している。

(イ) 神戸 ICAAP 記念エイズ月間事業（7 月）・世界エイズデー（12 月）

市民にエイズに関する正しい知識・理解を提供するため、エイズ月間と世界エイズデーに合わせて、花時計ギャラリーに HIV の啓発、性感染症予防、検査の案内等のポスターを掲示した。

また世界エイズデーには、KOBЕ ライトアップ DAY として、ポートタワー・ハーバーランド線照明灯等を、世界エイズデーのシンボルカラー（レッドリボン）である赤にライトアップを行っている。

③ 相談・検査

(ア) 平日夜間検査

三宮センタープラザ西館で、毎週水曜日 18:00～20:00 に HIV・性器クラミジア・梅毒検査、実施している。梅毒の流行により受検希望者が増えたことを受け、令和 5 年 7 月より定員を 40 名から 45 名に変更し、受け入れ体制を強化した。

(イ) 土曜即日検査

月1回指定土曜日の13:00～14:00にHIVの即日検査を実施している。

(ウ) 平日昼間検査

健康ライフプラザで2018年（平成30年）から令和4年までHIVと梅毒の検査を実施していたが、受検者数が少ないことや、事業開始後HIV陽性者が出なかったことから、2022年度（令和4年度）で終了した。

・平日夜間検査

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
実施回数	47	47	47
検査受診者 合計	1143	1710	1914

・即日検査

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
実施回数	12	12	12
検査受診者 合計	220	267	312

・平日昼間検査(R4年度で終了)

	令和 3年度	令和 4年度
実施回数	12	6
検査受診者 合計	124	129

・感染症検査の実施状況

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
HIV	1487	2022	2085
梅毒	1261	1759	1791
性器 クラミジア	1091	1472	1637

④ 医療・連絡体制の整備

兵庫県内の病院連携の推進、医療関係者、在宅ケア支援者等のネットワークを構築するため、神戸エイズネットワーク連絡会を開催（12月）。

(4) 結核対策

① 神戸市の現状

2023年の新登録結核患者は170人で罹患率11.3と2022年罹患率9.8から増加しており、全国の結核罹患率8.1に対し高い水準となっている。市内では地域差があり、長田(21.5)・兵庫区(19.1)・須磨区(14.8)において罹患率が高く、灘区、北区、垂水区の罹患率は10未満となった。他人への感染の可能性が高い肺結核塗抹陽性罹患率については4.5であった。なお、潜在性結核感染症(latent tuberculosis infection 以下、LTBI:発病はしていないが感染はしている状態)で治療が必要な者は2023年48人であった。

ア 高齢結核患者の増加

70歳以上の高齢者が新登録結核患者の68.8%、80歳以上が51.2%を占めている。昭和40年以前の結核まん延時期に感染し、高齢となり免疫機能が低下したために発病していると思われる。高齢者は発熱や咳などの症状が出ないことも多く受診や診断が遅れ、病状の進行に伴い周囲に影響を及ぼしている例がみられる。

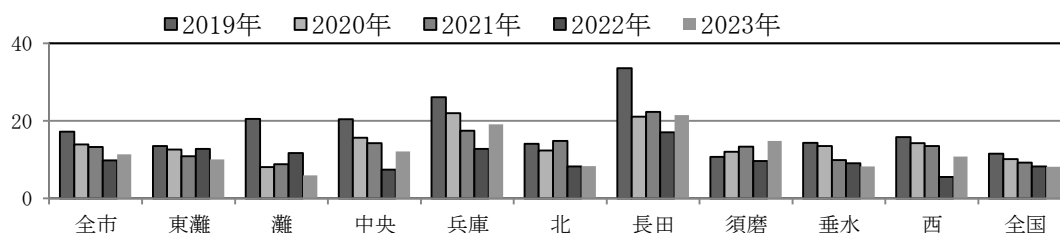
イ 医療の進歩に伴う結核発症のリスク

糖尿病や透析患者、HIV感染症の他、新たな抗がん剤・免疫抑制剤・生物学的製剤などの使用による免疫不全は、結核発症のリスクである。様々な疾患が結核を発病させる因子となり、潜在性結核感染症増加の要因となっている。

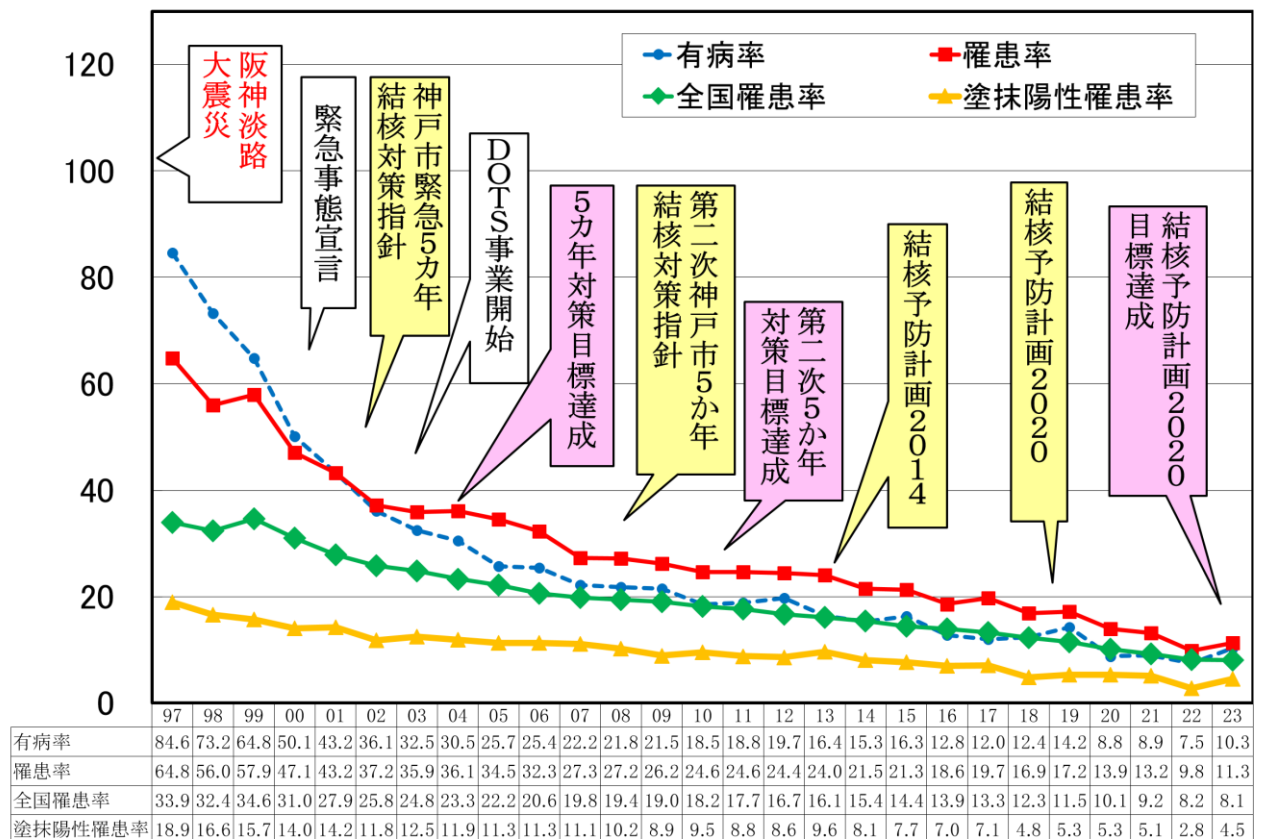
ウ 外国生まれ結核患者の存在

古くから国内有数の港町である神戸には、今でも留学や就業といった目的で100以上の国から人が集まっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、新規入国者は激減していたが、2022年以降、海外から日本語教育機関等へ入学してくる人が再び増加し、外国生まれの結核患者が増加傾向にある。外国生まれの結核患者は20代の若い層で、多くは結核高まん延国の出身者が母国にいたときから感染していて言語や文化の異なる日本での生活に順応できずに発病していると考えられる。薬剤耐性結核の多い国の出身者の場合は薬剤耐性結核菌に感染している可能性もある。健診の習慣、検査や治療に対する考えの違いや経済的問題から診断・治療の継続が困難な事例がみられる。

・神戸市各区罹患率の推移



・結核統計の推移



② 予防対策と実績

「神戸市結核予防計画2020」において、「原因の究明・情報の精度保証」、「結核患者の早期発見、地域連携に基づく適正かつ確実な医療による治療の完遂—二次感染の防止—」「感染性のある結核患者の接触者や発病リスクの高い感染者の発見及び注意喚起と治療」を三本柱として次の8項目の重点的施策を計画的に実施し目標の達成をめざしてきた。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国の新たな指針が示されていないが結核対策の重要性、方向性には変わりはないことから現行の指針に即し継続して対策に取り組んでいる。

ア 情報の精度保証

菌検査に関する情報を収集し、また菌株を収集し、検体によっては健康科学研究所で同定検査・感受性検査も行い、精度の高い情報を収集している。

イ 疫学的分析・新しい手法による解析

結核に関する質の高い情報の収集と精度保証及び分析、発生動向調査、分子疫学調査(VNTR法による遺伝子型別分析)等を継続して実施する。2023年度末で4046株の遺伝子型別分析が終わり、クラスター形成率は39.7%、クラスターサイズ10以上が33個、うち20以上のクラスターが10個存在することがわかっている。これらの情報を速やかに区に返すよう努めており、今後、接触者健診等対策に役立てていく。健康科学研究所では、これまでの遺伝子型別分析(RFLP, VNTR)に加え、先駆的に全ゲノム解析も用いて結核菌分子疫学調査を実施している。2023年の分子疫学調査実施率は98.6%で他都市と比較して高い実施率となっている。実地疫学調査結果と照らし合わせて、感染経路を探索し、さらに効果的な結核対策を推進していく。

ウ 発生の予防及びまん延の防止 ―患者の早期発見・早期治療―

患者の早期発見のため15歳以上の全ての市民に健診を受ける機会を提供している。また各区において重点対象者健診を地域の実情に応じて強化し実施している。中央区・兵庫区では、市立更生センターや簡易宿泊所等で毎年健診を行い、長田区では外国出生者を対象とした健診を実施している。各区において結核患者を早期に発見し、確実に医療につなぐため、様々な場所で健診を行い、患者発見時には周囲の者に対して接触者健診を徹底して行い、感染の拡大防止に努めている。ツベルクリン反応(ツ反)に代わるQFT検査はBCGの影響を受けず、LTBIの診断に有用である。神戸市では接触者健診の対象者に対して、保健センターで採血をして健康科学研究所でQFT検査の測定を実施し、安定した検査結果を得て、LTBI治療に結びつけている。

結核の予防接種であるBCG接種については2021年度に完全に個別接種となり、接種率維持のため、接種勧奨をしている。

・結核健診実施数（市長実施分）

		2021年	2022年	2023年	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
定期	X線撮影者数	39,282	38,998	37,913	3,844	3,531	1,911	2,774	5,798	1,745	5,256	4,935	8,119
	要精検者数	616	1,270	719	58	61	31	49	103	40	100	109	168
	精密検査者数	495	514	667	56	64	32	41	109	38	104	87	136
	結核患者	2	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0
患者家族その他 接触者健診	X線撮影者数	195	183	172	19	7	28	12	21	17	28	19	21
	喀痰検査者数	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核患者	5	2	4	1	0	2	0	0	0	0	0	1
	結核発病のおそれ	12	2	4	0	0	2	1	0	0	0	0	1
	X線撮影者数	145	81	180	13	9	20	82	13	5	19	5	14
	喀痰検査者数	0	0	68	1	0	0	67	0	0	0	0	0
	結核患者	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	結核発病のおそれ	5	0	5	0	1	0	0	3	0	0	1	0

・予防接種状況（BCG、コッホ現象）

*区の内訳は2023年

		2021年	2022年	2023年	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
定期	BCG接種数	9,037	9,026	8,578	1,377	817	931	605	1,076	509	908	1,192	1,163
コッホ現象	潜在性結核感染症	1	2	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	活動性結核	1	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

エ 患者管理及び支援の充実・治療の完遂

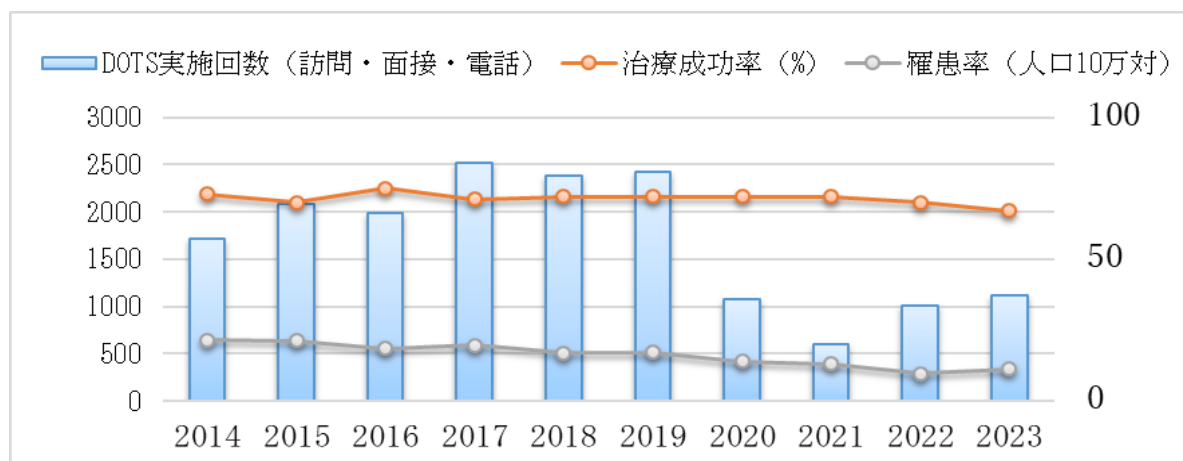
各区において患者を確実に治療完遂に導くため、他部局とも連携し、生活面・精神面も含めて包括的に患者支援(DOTS)を行っている。院内DOTS及び、病院と保健所・保健所保健センターとのDOTSカンファレンスを継続実施し、確かな情報のもとに退院後の地域DOTSへつないでいる。地域ではDOTS事業として、委託看護師・薬剤師と保健師との連携で、服薬確認のみならず長期の療養を精神的に支え、治療継続支援を行っている。

全市平均の治療成功率は患者の高齢化により死亡者が多いこともあり約70%である。中断失敗率は2%(2022年新患)であり、副作用等による医師からの指示中止も含まれている。

・コホート検討会による治療成績評価[注]目標：治療成功率 85%以上、中断+失敗率 1%未満

治療成功率	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	全市平均
2021 年(2020 年新患)	71%	30%	77%	61%	75%	75%	74%	83%	76%	72%
2022 年(2021 年新患)	64%	62%	62%	61%	63%	75%	68%	76%	69%	72%
2023 年(2022 年新患)	74%	63%	60%	57%	94%	56%	60%	62%	69%	67%

・保健師の結核患者管理



オ 施設内（院内）感染の防止

まず神戸市の結核発生状況を周知する。医療機関については、医療機関内の院内感染対策委員会等と連携して結核患者の早期発見・早期治療、治療の完遂及び接触者健診を行う。医療機関以外の施設には研修等を実施し予防に対する知識の普及に努める。患者発生時には接触者健診の徹底により、感染の拡大を防ぐ。

カ 地域連携に基づく適正医療

患者は退院後には地域にもどって治療を継続するため、結核病棟を有する病院と地域医療機関との連携が円滑に進むよう保健所及び保健所保健センターは情報を共有し、調整を行う。また結核病棟を有する病院と協力し、地域連携クリニカルパスを作成し、市内のどの医療機関でも標準的な医療を受けられ、また入院あるいは専門的な医療を要するときには結核病棟を有する病院にかかることのできる体制作りをめざしている。

市内医療機関では画像のデジタル化が進み、保健所でもデジタル画像に対応している。また医療機関とのオンライン化による地域連携をはかり、遠方の結核病棟を有する病院まで行かなくても地域で適切な医療を受けられる体制をめざす。

また人の行動範囲は広域となっているため、他自治体との連携をより一層図っていく。

キ 正しい知識の普及・人権の尊重

結核に関する正しい知識の普及を進めるため、広報の掲載や、ポスター・チラシの配布をしている。また研修会を実施し、結核患者が差別や偏見を受けることのないよう啓発活動を行っている。

・結核対策研修会実施状況

開催日	結核対策研修会テーマ	講師	参加者数
2021 9. 2	結核患者を増やさないために With コロナ ※Web 開催	藤山理世、上領博、 藤井宏、岩本朋忠	110
2022 9. 3	結核感染拡大防止対策のこれから ※現地開催＋オンデマンド配信	藤山理世、瀧口純司 岩本朋忠、加藤誠也	12 視聴回数 184回
2023 9. 30	早期発見・早期治療、治療の完遂が 結核の最大の予防 ※現地開催＋オンデマンド配信	藤山理世、有川健太郎 鈴木克洋	18 視聴回数 119回

ク 人材の育成

結核の早期発見・治療成功率の向上のために医療機関向けの研修を実施している。また、保健所及び保健所保健センターの職員を積極的に結核研究所等の研修に参加させ、新しい技術と情報を入手し、職員間で共有し、向上をめざす。他部局とも連携を図り、結核患者の生活面や精神面にも配慮しながら服薬支援を行える人材を養成している。

ケ クリニカルパスの活用拡大

2011年11月から西神戸医療センターと市民病院群（中央・西）とで地域連携クリニカルパスを試用している。パス活用を拡大し、結核病棟を有する病院と地域の医療機関との連携を深め、入院から外来までの適正な医療の継続を図り、円滑な患者の治療完遂を支援している。

コ DOTS 事業のさらなる強化推進

DOTS（包括的服薬支援）をさらに強化し、治療の完遂を確実なものとして薬剤耐性化を防ぎ、再排菌を予防し、新たな感染の発生の防止を徹底する。また、2016年度より外国生まれの結核患者に対し、保健師が円滑に支援できるよう医療通訳者の同行制度を開始し、多様な言語に対応している。

・医療通訳派遣事業実績

		2021年	2022年	2023年	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
実件数		3	4	15	2	—	3	2	4	1	—	—	3
延べ件数		3	10	22	2	—	8	3	4	2	—	—	3
延（ べ再 件掲 ） 数	入院中	1	5	6	1	—	1	3	—	1	—	—	—
	通院中	1	4	12	1	—	7	—	2	1	—	—	1
	接触者健診	1	1	4	—	—	—	—	2	—	—	—	2
対応言語	ベトナム									○			○
	ミャンマー							○		○			
	ネパール						○	○					
	ヒンディー						○						
	タガログ								○				○
	英語				○								
	中国語						○		○				

*2023年 ハイリスク者健診：長田区 ベトナム語 2件、北区 中国語 1件

③ 今後の結核対策にむけて

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症の流行は、結核対策にも様々な影響を与えた。人々がみなマスクを着用し、一堂に集まる機会を避けたことは結核感染拡大の防止につながった。外国出生者の入国に制限をかけたことも結核の罹患率の低下につながったと考えられる。

しかし、新型コロナウイルス感染症を恐れるあまり、受診控え、検査控えがあり、結核患者が発見できなかった可能性がある。またネパール、ミャンマーなどの結核高蔓延国出生者が急増していることから、今後結核患者も増加する可能性が考えられる。実際に2023年は罹患率が11.3と2022年9.8から上昇した。全国的にも高齢者の問題、外国出生者の問題が議論される中、国の指針の動向をみながら、これまで通り、患者一人一人への支援(DOTS)をしっかりと行って感染拡大を防止する。罹患率の高い国の出生者にはその国の慣習にあわせた今までとは異なる対応(通訳の導入・健診費用の補助等)を行い、喀痰検査・胸部X線検査の必要性の周知に再度力をいれ、患者の早期発見・早期治療に努め、感染拡大の防止を図って罹患率の低下につなげたい。

第7節 栄養改善事業

「神戸市食育推進計画」に基づき、生活習慣病予防など健康寿命の延伸を目指した健康づくりのための食育や市民への正しい栄養知識の普及・啓発について、子どもから高齢者までライフステージに応じた、各種事業及び食環境整備、人材育成に取り組んでいる。

（１）栄養相談・健康教育

ライフステージに応じて、健康診査や各教室及び電話等での栄養相談に応じている。

※母子対策 …第2節 母子保健事業・こども家庭支援室 を参照

※成・老人対策 …第3節 成・老人保健事業 を参照

（２）食育の推進

「神戸市食育推進計画」に基づき、関係機関・団体等と連携及び協働を図りながら、食育を推進している。

① こうべ食育推進調整会議（2023年8月30日開催）

学識経験者、生産・流通関係者、市民の代表等の委員で構成され、神戸市食育推進計画の実施状況などについて、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求め、聴取することで活動の活性化が図られるよう開催している。

② 食育講座

ライフステージに応じた食育の推進を図るため、世代別に食育講座を実施している。

離乳食の作り方講座については、健康ライフプラザに加え中央区文化センターでも開催し、開催日数を増やした。子ども食育セミナーについては、学童保育児を対象に、食育ミニ講座については、福祉局くらし支援課主催の学習支援事業に参加している小・中・高校生を対象に実施した。また、「保健事業と介護予防の一体的実施（集団支援）」については、主に後期高齢者を対象に、各区内の集いの場にて低栄養予防や重症化予防のための食生活をテーマにした健康教育を実施した。

・開催状況

離乳食の作り方講座

	回 数	参加者数
2021 年度	30	350 組
2022 年度	72	865 組 (1362 人)
2023 年度	84	946 組 (1482 人)

母子健康教育

	回 数	参加者数
2021 年度	26	324 人
2022 年度	64	635 人
2023 年度	34	325 人

子ども食育セミナー

	回 数	参加者数
2021 年度	4	80 人
2022 年度	5	190 人
2023 年度	65	2368 人

食育ミニ講座

	回 数	参加者数
2021 年度	2	7 人
2022 年度	2	8 人
2023 年度	12	116 人

一体的実施（集団支援）

	回 数	参加者数
2021 年度	39	511 人
2022 年度	49	612 人
2023 年度	34	477 人

③ 栄養相談ダイヤル

2021 年 11 月にシニア健康相談ダイヤルからのつなぎ先として開設。フレイル・低栄養・生活習慣病予防に関する相談に加え、離乳食・幼児食に関する相談など、食生活上の悩みを抱えた全世代の市民からの栄養・食生活相談に対応した。（2023. 4. 1～2024. 3. 31(142 日間)：839 件）

④ 出張栄養相談

栄養相談ダイヤルの認知度を高めるとともに、栄養相談へのハードルを下げるため、児童館やおやこふらっとひろば等に出向いて個別栄養相談を実施した。（2023 年度：18 回 124 人）

⑤ 食支援事業の場での栄養相談

子育て世帯への食を通じたつながり支援の場において、食品を受け取りに来た子育て中の市民からの相談に応じた。（2023 年度：2 回 5 人）

⑥ 若い世代向け食育イベント「Think! Food」

若者に身近なコンビニでの買い物の場面を再現し、普段買い物をするように栄養バランスチェックを体験した後、栄養バランスのいい昼食メニュー（企業と連携したキッチンカーを出店）を実食することで、楽しく自身の健康や食に関心を持ち、実践するきっかけを作った。（2023. 6. 24～2023. 6. 25（2 日間）：751 人）

⑦ 啓発・情報提供

市の食育の取り組みや食生活に役立つ情報をわかりやすく紹介する食育専用ポータルサイト「こうべ食フレ」のトップページに「KOBE 食の応援レシピ」を追加、生活習慣病予防のための食生活のポイントを掲載したページを新設するなど充実を図った。

⑧ リーフレット送付によるプッシュ型支援

年代に応じたリーフレット（40歳向け・50歳向け・75歳向け）を作成し、健診受診案内等に同封することで、健康意識の低い人でも自然と情報が目に入ることを狙って実施した。（40歳：約18,500部、50歳：約10,000部、75歳：約25,000部）

⑨ 食生活改善普及運動

9月の1ヶ月間、市内スーパーおよび従業員食堂、JA兵庫六甲農産物直売所、こうべ地産地消推進店等にて「KOBE 野菜を食べようキャンペーン」として、イベントや野菜レシピブックの配布を行った。（2023年度は217店舗・17施設にて実施）

⑩ 市内食品関連会社との連携による食育の推進

地元の食品関連企業等9社から結成された食課題解決のためのプロジェクトチーム「食べとう？KOBE」と連携し、「食べとう？夏休み親子クッキング」、「Think! Food」を実施した。「神戸市民の健康増進・食育推進事業連携に関する協定」を締結している味の素株式会社と食生活改善普及運動等で連携した。

（3）国民健康・栄養調査

健康増進法に基づき、国民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、健康増進の総合的な推進を図る基礎資料を得るため、国より委託を受け、毎年11月に実施。

- ・2021年（令和3年度）は実施なし
- ・2022年度（令和4年度）調査対象4地区 92世帯 207人。
- ・2023年度調査対象4地区 79世帯 130人。

（4）人材育成活動

地域における栄養改善、食育推進のため、会計年度任用職員への資質向上研修・連絡会、管理栄養士養成施設（大学）の学生実習の受入れ指導を行っている。

（5）給食施設関連指導

健康増進法に基づき、特定給食施設及び給食関係者に対して立入検査、巡回指導、リモート面談指導や研修会等を実施している。また、給食施設の栄養管理、衛生管理の充実とともに、給食を通じて利用者（市民）に対し生活習慣病の予防・健康増進等が図れるよう指導・相談を行っている。

・指導実施状況及び施設数

	個別指導（リモート面談・立入・巡回・書面・電話・来所）										集団指導	
	特定給食施設				その他の給食施設				計		回数	指導施設数
	栄養士有		栄養士無		栄養士有		栄養士無					
	施設数	指導数	施設数	指導数	施設数	指導数	施設数	指導数	施設数	指導数		
2021年度	387	220	243	72	304	101	166	23	1,100	416	2	266
2022年度	380	252	243	97	318	116	168	30	1,110	495	5	672
2023年度	520	197	105	90	336	92	155	10	1,116	389	4	473

・給食施設数・指導件数（施設規模および管理栄養士・栄養士の有無別）

施設数		特 定 給 食 施 設			そ の 他 の 給 食 施 設			総数
		1 回100食以上又は 1 日250食以上			1 回 50 食以上又は 1 日 100食以上			
		小計	栄	無	小計	栄	無	
2021年度		630	387	243	470	304	166	1,100
2022年度		733	490	243	377	208	169	1,110
2023年度		625	520	105	491	336	155	1,116
内 訳	学校	256	228	28	23	15	8	279
	病院	51	51	—	59	59	—	110
	介護老人保健施設	27	27	—	30	29	1	57
	介護医療院	2	2	—	6	6	0	8
	老人福祉施設	52	52	—	69	65	4	121
	児童福祉施設	144	107	37	135	90	45	279
	社会福祉施設	16	15	1	84	59	25	100
	事業所	67	30	37	72	7	65	139
	寄宿舍	5	4	1	9	2	7	14
	矯正施設	1	—	1	—	—	—	1
	自衛隊	—	—	—	—	—	—	—
	一般給食センター	—	—	—	—	—	—	—
	その他	4	4	—	4	4	0	8

指導数		特 定 給 食 施 設			そ の 他 の 給 食 施 設			指 導 方 法 内 訳		集団指導	総数	
		1 回100食以上又は 1 日250食以上			1 回 50 食以上又は 1 日 100食以上			立入・ 巡回等	電話等			
		小計	栄	無	小計	栄	無					
2021年度		292	220	72	124	101	23	252	164	(2回)	279	695
2022年度		349	252	97	146	116	30	289	206	(5回)	672	1,167
2023年度		287	197	90	102	92	10	250	139	(4回)	473	862
内 訳	学校	56	14	42	—	—	—	41	15		10	66
	病院	74	74	—	70	70	—	109	35		135	279
	介護老人保健施設	6	6	—	12	10	2	8	10		38	56
	介護医療院	3	3	—	—	—	—	1	2		3	6
	老人福祉施設	11	11	—	2	2	—	—	13		54	67
	児童福祉施設	9	8	1	5	5	—	—	14		177	191
	社会福祉施設	18	17	1	3	3	—	12	9		24	45
	事業所	100	56	44	8	1	7	72	36		23	131
	寄宿舍	8	6	2	2	1	1	6	4		3	13
	矯正施設	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—
	自衛隊	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—
	一般給食センター	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—
その他	2	2	—	—	—	—	1	1		6	8	

栄＝管理栄養士はいないが、栄養士のいる施設

無＝管理栄養士も栄養士もない施設

(6) 食生活関連情報整備

食品関連事業者に対し、法律に基づく食品の栄養成分表示や虚偽・誇大広告に関する相談・指導を実施している。また、市民に対し食品表示等に関する知識の普及、啓発を行っている。

・食品関連事業者に対する食品相談・指導件数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2023年度内訳		
				不適正 及び違 反表示	収去 検査	相談 指導 等
食品表示基準	137	147	119	44	0	75
虚偽誇大広告	15	6	12	5	0	7
その他	3	0	2	0	0	2
合計	155	153	133	49	0	84

(7) 栄養士・管理栄養士免許事務

・栄養士、管理栄養士免許の進達件数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
栄養士新規免許申請	3	8	5
栄養士免許書換申請	23	25	25
栄養士免許再交付申請	2	1	1
管理栄養士新規免許申請	30	36	30
管理栄養士免許書換申請	17	22	32
管理栄養士免許再交付申請	0	0	2
合計	75	92	95

第8節 環境保健事業

大気汚染による健康被害やアスベスト健康被害に関する事業を実施している。

(1) 公害健康被害に関する事業

① 公害健康被害救済事業

「公害健康被害の補償等に関する法律」に基づき、1988年2月末までに認定を受けた被認定者に対する給付等を行っている。

ア 補償給付

公害被認定者に対し、療養の給付、障害補償、遺族補償等の補償給付を実施している。

・疾病別被認定者数（2024年3月末現在）

指定疾病	慢性気管支炎	気管支ぜん息	ぜん息性 気管支炎	肺気腫	合計
被認定者数	12	472	0	0	484

イ 公害保健福祉事業

公害被認定者に対し、区保健師による家庭療養指導事業、インフルエンザ予防接種費用助成等を実施している。

・公害保健福祉事業（2023年度実績）

家庭療養指導事業	保健師訪問人数	延3人
インフルエンザ予防接種費用助成事業	助成実施数	198件

② 公害健康被害予防事業

大気汚染による健康被害を予防するための事業を実施している。

・公害健康被害予防事業（2023年度実績）

アレルギー健診	1歳6ヶ月児	受診者数 9,187人	指導対象者 5,330人
	3歳児	受診者数 10,486人	指導対象者 5,822人
COPDスクリーニング及び 禁煙サポート事業	参加人数	1,231人	

③ 環境保健サーベイランス事業

環境省の委託事業として、3歳児と6歳児を対象とする調査を灘区と兵庫区で実施している。

(2) アスベスト健康被害に関する対応について

①アスベスト健康管理支援事業

アスベスト健康被害の不安のある方からの相談、市民健診等を活用した検診、専門医の紹介のほか、専門医療機関で継続観察が必要とされた方にアスベスト健康管理手帳を交付して医療機関での継続観察を支援している。

・アスベスト健康管理支援事業手帳交付数

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
健康管理手帳	22冊	19冊	11冊

②石綿健康被害救済給付受付業務

「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づき、(独)環境再生保全機構が行っている救済給付について、申請者の利便性を考慮し、書類の配布・受付業務を受託し実施している。

・療養費関係申請件数

	中皮腫	肺がん	石綿肺	びまん性 胸膜肥厚	記載なし	申請件数
2021年度	5	2	0	2	0	9
2022年度	5	0	1	0	0	6
2023年度	4	0	1	0	0	5

・特別遺族弔慰金・葬祭料申請件数

	中皮腫	肺がん	石綿肺	びまん性 胸膜肥厚	記載なし	申請件数
2021年度	1	1	0	0	0	2
2022年度	0	2	0	0	0	2
2023年度	0	0	0	0	0	0

第9節 歯科口腔保健事業

「神戸市歯科口腔保健推進条例「2016年11月8日施行」を受け、関係者との会議（神戸市歯科口腔保健推進検討会および懇話会）を設置するとともに、2017年度より口腔保健支援センターを設置して推進体制を強化。2023年4月には、「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第3次）（2023年度～5年間）」を策定し、歯科口腔保健を推進している。

(1) 歯科口腔保健事業の実施状況

		2021年度		2022年度		2023年度		備考
		開催回数	実人数	開催回数	実人数	開催回数	実人数	
歯科健診・歯科相談	妊婦歯科健康診査〔委託〕	3,931	3,931	3,878	3,878	3,633	3,633	
	4か月児健診	204	—	199	—	198	8,604	※1
	集団指導		644		605		683	
	1歳6か月児健診	168	10,659	172	9,821	169	9,185	
	個別相談		8,063		8,871		8,370	
	3歳児健診	170	11,455	182	11,402	172	10,476	
	個別相談		8,124		8,113		8,648	
	40歳総合歯周病検診〔委託〕	1,376	1,376	1,368	1,368	1,252	1,252	
	50歳歯周病検診〔委託〕	2,403	1,632	2,532	2,532	2,469	2,469	
	60歳歯周病検診〔委託〕	2,424	728	2,652	2,652	2,541	2,541	
	後期高齢者(75歳)歯科健康診査〔委託〕	1,073	1,178	1,777	1,777	2,928	2,928	
予防処置	電話・面接相談	145	145	149	149	70	70	
	母子		12		47		11	
	成人	12	12	47	47	11	11	
	小計	11,906	50,309	12,956	51,215	13,443	58,870	
	幼児フッ化物塗布	—	—	172	6,854	169	6,362	※2
	3歳児	—	—	—	—	172	5,366	
	小学校フッ化物モデル事業	12	356	69	1,929	73	1,943	※3
	フッ化物洗口		—		—		—	
	フッ化物塗布	4	100	4	100	4	104	
	小計	12	356	245	8,883	418	13,775	
	すくすく赤ちゃんセミナー	52	221	87	1,287	98	1,676	
	オンライン		227		333		254	
その他	むし歯予防相談会	71	207	96	285	83	285	
	保護者		30		258		268	
	歯の健康サポーター事業	26	506	42	748	42	742	
	児童館		174		1,100		1,458	
	保育所園	82	1,648	111	4,427	81	7,027	
	成人関係	5	111	5	90	8	166	
	小計	472	9,579	406	8,528	480	11,876	
	オーラルフレイルチェック	2,083	2,083	2,638	2,638	2,437	2,437	※4
	オーラルフレイル対策事業	—	—	1	20	2	42	
	訪問歯科診療	549	128	623	152	732	214	
	訪問口腔ケア	959	112	1,034	123	1,491	187	
	口腔がん検診	48	599	48	599	48	598	※5
その他	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施(歯科)	231	231	498	498	205	205	
	個別支援		—		14		138	
	集団支援	—	—	14	365	9	138	
	人材育成	10	380	21	316	20	610	※6
	合計	16,270	63,777	18,484	73,336	19,285	88,952	

※1 4か月健診 集団健診

※2 幼児フッ化物塗布

※3 小学校フッ化物モデル事業

※4 オーラルフレイルチェック

※5 オーラルフレイル対策事業

※6 口腔がん検診

※7 人材育成等

新型コロナの影響により、2021年～2022年度は集団健診中止

新型コロナの影響により2021年度は1歳6か月児3歳児共に休止。2023年度は3歳児休止
フッ化物洗口は、モデル校2校で実施。
フッ化物塗布は、2022年度よりモデル校2校で開始。2021年度より65歳を対象に地域の歯科医院で実施
2022年度には健口トレーニングモデル事業を実施
市歯科医師会が主体となり、平成29年度より開始

雇用歯科衛生士研修、歯の健康サポーター研修、保育所・幼稚園フッ化物洗口研修への協力、学生実習や歯科医師臨床研修医の受入れなど

(2) 歯科健康診査・歯科相談

乳幼児から高齢者までライフステージに応じて歯科健康診査・歯科相談などを実施している。

① 妊婦歯科健康診査および乳幼児歯科健康診査

第2節 母子保健事業・こども家庭支援室を参照

② 歯周病検診、後期高齢者（75歳）歯科健康診査、訪問歯科診療・訪問口腔ケア事業

第3節 成・老人保健事業を参照

(3) 予防処置（フッ化物応用）

神戸市では、むし歯予防に有効であるフッ化物の応用を推進している。

① 幼児フッ化物塗布

1歳6か月児および3歳児歯科健診受診者のうち、希望者を対象に、有料（500円）にて、フッ化物塗布を実施するとともに、歯科医院での定期的な継続塗布を啓発している。

新型コロナウイルスの影響で中止となっていたが、2023年4月より、1歳6か月児・3歳児ともに再開している。

② 保育所（園）等フッ化物洗口

保育所（園）、幼稚園、認定こども園に在籍する4、5歳児のうち希望者を対象に、週2回法にて、フッ化物溶液での洗口（うがい）を実施している。

フッ化物洗口の実施状況（2023年度） 実施施設のみでの割合

	対象施設数	実施施設数	実施施設割合	(A)4・5歳児 入所児童数 (人)	(B)フッ化物洗口 希望者数 (人)	B / A
公立保育所	58	58	100.0%	2,211	2,150	97.2%
民間保育園	72	60	83.3%	1,895	1,644	97.0%
幼保連携型 認定こども	163	149	91.4%	7,151	6,919	96.8%
私立幼稚園	46	8	17.4%	520	492	94.6%
幼稚園型認 定こども園	20	2	10.0%	497	465	93.6%
市立幼稚園	29	29	100.0%	672	619	92.1%
合計	386	304	78.8%	12,746	12,289	96.4%

※注 対象施設数：4歳、5歳児が在籍している施設数のみ

③ 小学校におけるフッ化物利用モデル実施

健康格差の縮小を目的に、むし歯予防に効果的なフッ化物利用のモデル事業を2021年度より開始。モデル小学校4校において、外部人材を活用してフッ化物利用を実施している。

○フッ化物洗口（兵庫区：浜山小学校、長田区：名倉小学校）

週1回（長期休みを除く）、始業時間前に、小学4年生の希望者を対象に、フッ化物洗口溶液での洗口を実施。実績：73回、延べ人数1,943人

○フッ化物塗布（兵庫区：和田岬小学校、長田区：丸山ひばり小学校）

年2回、小学2年生、小学3年生の学級活動の時間を利用して、前半は歯の健康に関する学習を行い、後半は希望者にフッ化物塗布を実施。実績：4回、延べ人数104人

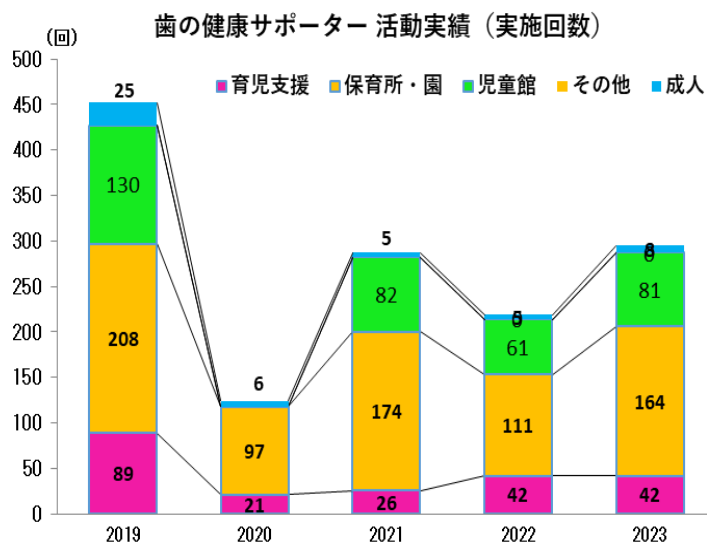
(4) 歯科健康教育

① 歯の健康サポーター活動

歯の健康サポーターを地域の施設・団体に派遣し、歯科健康教育を実施して、市民の歯と口の健康づくりの取り組みを支援し、歯科保健意識の向上に努めている。2023年度は、保育所（園）・児童館では抽選により、育児支援や成人に対しては、先着順で実施した。なお、内容は、実習を再開し講話と個別指導を行う従来の実施方法に戻した。

② 区役所での歯科健康教育

2023年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら、すくすく赤ちゃんセミナーを全区で再開した。むし歯予防教室は、1歳6か月児健診でのむし歯予測テスト結果が届いた直後からの申込みに変更し、集団指導ではなく個別対応の「むし歯予防相談会」として実施した。



(5) 人材育成

充実した歯科保健サービスを提供できる歯科衛生士の人材を育成すると共に、資質の向上を図ることを目的として研修会を実施している。

①区役所乳幼児健診事業等に出務する歯科衛生士を対象に外部講師による「アンガーマネジメントとメンタルヘルス」について学んだ。

②健康教育を担当する歯の健康サポーターを対象に、企業によるイベントの取り組みや学校への保健指導の活動、歯周病リスクの簡易テスト（LDH）について学んだ。

(6) オーラルフレイル対策事業

オーラルフレイルは、口の機能のささいな衰えをいい、口が渇く、滑舌が悪い、固い物が食べにくい、食べこぼしをする、飲み込みにくいなどの状態である。そのまま放置すると、4年後にはフレイル（心身の活力の低下）や要介護に2.4倍なりやすい。

「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第3次）」において、「生涯、自分の口でおいしく食べる」を目標の一つに掲げ、健康寿命の延伸のため、オーラルフレイル対策に取り組んでいる。

2023年度は、前期高齢者の入り口である65歳の市民を対象とした、地域の歯科医院においてオーラルフレイルチェック事業の実施に加え、75歳の後期高齢者にもオーラルフレイルチェック事業を実施した。65歳は利用した2,437名の71.0%、75歳は利用した2,928名の76.3%がオーラルフレイルに該当していた。引き続き、オーラルフレイルを早期に発見し口腔機能の回復を図ることでフレイルを予防し、かかりつけ歯科医での定期健診へとつなげていく。

また、フレイル予防のための健口トレーニングモデル事業として、2つの区役所で専門的な口腔機能測定機器を用いた検査を実施し、オーラルフレイルチェック後の評価を行うとともに、参加者が自分でできる口腔機能トレーニングのアドバイスを行った。

（７）「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第３次）」の推進

「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第３次）」に基づき、歯科口腔保健の啓発を実施した。

① 「BE KOBE 学生ナビ」を活用した大学生向けの啓発

2023 年度より開始した新たな大学生向け情報発信ツール「BE KOBE 学生ナビ」を活用して、歯と口の健康づくり情報について発信した。

② ラジオ関西「サンデー神戸」にて「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第３次）」の啓発

ラジオ関西「サンデー神戸（パーソナリティ：クマガイタツロウ）」に出演し、神戸市における歯と口の健康づくり対策について紹介した。

③ 市立図書館全館（12 館）において歯科口腔保健啓発

歯と口の健康週間（6 月 4 日～10 日）にあわせて、市内の図書館全館（12 館）において歯科口腔保健関連図書の展示・貸出および歯科口腔保健パンフレット・ちらしの配布を実施した。

④ ダイエー神戸三宮店での情報発信

ダイエー神戸三宮店に協力頂き、サービスカウンターで「こうべ歯と口の健康づくりプラン（第３次）」を配架して啓発した。

⑤ 「いい歯の日」明石海峡大橋パールホワイトライトアップ、KOBE ライトアップ DAY

「いい歯の日（11 月 8 日）」に明石海峡大橋を白い歯をイメージしたパールホワイト色にライトアップして啓発。神戸市立の施設を白くライトアップして歯科口腔保健の啓発を実施した。

⑥ 「おやこふらっとひろば」での歯科啓発グッズの配布

サンスター株式会社およびライオン株式会社の協力のもと 9 区の「おやこふらっとひろば」にて小冊子、歯ブラシなどを配布した。

⑦ 神戸市公式 Twitter にて歯科口腔保健情報の発信

神戸市公式 Twitter 等を活用して歯科口腔保健の啓発を実施した。

⑧ こうべ福祉・健康フェア（10 月 1 日）

子ども向け歯科医師体験・クイズを神戸市歯科医師会が運営。フェア全体で 9,401 人参加。

⑨ 人材育成

在野の歯科衛生士を育成（歯の健康サポーター 34 名）して地域に派遣し、ライフステージに応じた歯科健康教育を実施。市民が自ら、むし歯や歯周病予防に取り組むことを支援した。